定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介

# ○日本行金塊輸送禁止

日本行金塊四百萬弗は突然米國政府により輸送を禁止せられたり（桑港電報）

# ○支那出兵と日支交渉

支那滿洲出兵に就き段總理は非公式に日本と交渉を累ねつゝあり（北京電報）

# ○獨逸祖國黨態度強硬

米國來電に依れば獨逸は米國に對し講和運動を試みつゝありとの噂あれども獨逸國內に於ける軟弱外交反對の氣勢は益々旺んにして最近保守黨其他全獨主義の兩派相合し獨逸祖國黨なる一政黨を作り既に其宣言を發表したるが此の政黨の中心はメクレンブルグ、アルブレーヒト公並に前海相チルピッツにして主として議會多數黨の主張なり而して其目的とする處は所謂平和決議に反對するものにして吾人は吾人の戰功に相當し犧牲に相應せる平和を得ざる可からず夫の議會の希望する平和の如きは獨逸國民を亡ぼすものなりとの過激の言を吐露しつゝあるものなり要するに議會を解散し戰時中宰相の單獨執權にて政治を行ふべしとの意見有力にして殊に最近の戰局好況に鑑ひつゝある爲め是等強硬派の議論政界を風靡し軟弱派の勢頗る不振の狀態に陷りつゝあり（ベルン發其筋着電）

# ○植民地恢復は必然

## 獨逸の講和條件

最近バッデブルグ新聞に獨逸拓殖省は全植民地を恢復す可き從來の希望を放棄せりとの報を掲げ且つ風說として今回の羅馬法皇への回答案中には南洋諸島の放棄を明記しありと記載せるに關し九月十二日の北獨逸アルグマイネツァイツング紙は法皇に對する獨逸政府の回答文案中に斯くの如き文言ありとの噂は全然無根の浮說たるのみならず拓殖省は今尙ほ從前通り全植民地の恢復を必然的講和條件と思料しつゝありと半官報的に辯明を試みたり（ベルン發其筋着電）

# ○露國民主黨政府設置

露國立憲民主黨政府ガフに設置せられたり（露都電報）

# ○哥薩克指揮官辭職

露國半官報の報ずる所に依ればドン哥薩克指揮官カレーヂン將軍は其職を辭せりと（路透電報）

# ○飛行機擊破公報

英國政府及び獨逸政府の公表せる八月中の飛行機擊破數左の如し

▲獨逸公報　八月中飛行機六十四臺飛行船四隻を擊破され敵飛行機二百九十五臺（內百二十六臺は獨逸戰線內、他は敵陣地中に墜落破壞せり）

▲英國公報　飛行機八十六臺を失ひ飛行船の損失なく敵飛行機百六臺を擊破し八十六臺を墜落せしめ飛行船九隻を破壞せりと（ベルン發其筋着電）

# ○獨逸の回答案

## 近々內容發表

羅馬法皇の講和提唱に對する獨逸の回答案は過般成立せる宰相附特別委員會に於て當局と議員代表者との間に協議決定濟となれるが內容は近日中に發表す可しと（ベルン發其筋着電）

# ○排日問題交渉

近來滿洲にて排日熱旺んなるを以て帝國政府は之に關する交渉を北京に於て開始し根本的解決法を講ず可し（東京電報）

# ○重砲隊編成換

陸軍省に於ては大正七年度以降七八箇年繼續事業として橫須賀以下全國各重砲兵聯隊の編成換を行ふ可しと（東京電報）

# ○正貨十億

我國の正貨は今や十億に達せり（東京電報）

# ○京阪電鐵社長

京阪電鐵社長は岡崎邦輔氏に決定せり（大阪特電）

# ○齒科醫師規則改正

齒科醫師規則改正の件は二十日の官報を以て公布せられ即日より施行のこととなれり、右は大正二年朝鮮總督府令第百一號齒科醫師規則中第一條第三號の次に一項を加へたるものにして從來朝鮮人にして內地の齒科醫學專門學校に入學する場合は專門學校令に依る入學資格を有せざるも相當の試驗を經て特別入學を許さるることゝなり居れり、されど正規の入學資格を有して入學したる者と同一の科程を履修し全科の試驗に及第するも入學資格の相違せる爲め齒科醫師法第一條第一號に該當せず又た齒科醫師規則第一條各號にも該當せざるを以て齒科醫師免許を受くるを得ず、然るに醫師規則に在りては之と同樣の卒業者に對し大正五年十月府令第九十四號を以て其の一部を改正し醫師免許の資格を附與したるを以て齒科醫師に對しても亦之が權衡上改正の必要を認めしに依るものなりとす

# ○騎兵制改正

今回陸軍騎兵學校編制改正せられ同時に同校名を陸軍騎兵學校と改稱されたり

# ○夜盜蟲殲滅

黃海道延白郡海南面、海龍面、海城面の各一部に八月七日頃より夜盜蟲發生し粟稗等に若干の被害ありたるより郡廳にては關係各廳にて十二日より一齊に驅除を開始し百方努力の結果二十七日に至りて遂に全滅せしむるを得たり其の被害面積は約八十五町步餘、外二町步餘なりしと

# ○害蟲發生頻繁

全羅南道にては股果郡管內に二化性螟蟲發生して水稻に被害を受け、谷山郡には夜盜蟲發生して粟の被害あり又た忠清南道燕岐郡にても浮塵子發生して水稻に被害を蒙れるより關係郡廳にては耕作者を督し何れも驅除豫防に盡し居れりと

# ○本年米收奈何

東洋拓殖會社の調査に依れば本年全鮮の米作は前年に比し全羅北道の一割八步增收の外他の各道は悉く減收にて殊に黃海道の如き半作となり居れるが同社殖產當局の談によれば全道米作を通觀して昨年の一割弱減と見るを至當とすべく乃ち本年の米穀實收は一千一百萬石內外なるべし唯今後の照り込み如何にて其の數字にも若干の異動を來すべきが兎に角本年は若干か平年作を下るならん

# ○朝鮮製粉會社許可

合同問題解決を告げ安部幸之助、松方正熊、山口諭太郎、前川太郎兵衛、吉村鐵之助、棚瀨軍之佐、山中隣之助、中井勵太郎、原虎太郎、杉浦眞作、吉富矯一、高木幸次郎、鈴木山郎、林松太郎、平田初熊諸氏發企人として曩に當局に對し設立認可申請中なりし朝鮮製粉株式會社は十四日附を以て許可の指令ありたり同社は資本金一百萬圓を以て組織せし如く鎭南浦に製粉會社を設置せんとするものにして事業の目的は麥粉及び麵類の製造販賣原料採取農業經營並に以上に關聯する諸般の事業にて因に會社の株は發企人間に於て全部を引き受け一般よりは募集せざる由なり

# ○粟作豫想

豫想總額三百五十四萬餘千石前年に比し五分九厘の減收なり

大正六年の粟作は京畿道以南の各道は概して作柄良好なりしも北鮮地方は旱魃の害を蒙り生育不良にして一般に收穫減少の見込なり、今九月一日の現況に徵するに其の收穫豫想高三百五十四萬一千六百八十八石にして之を大正五年の實收高三百七十六萬三千八百六十一石に比すれば二十二萬二千百七十三石即ち五分九厘の減收なり、今累年收穫高を比較すれば左の如し

粟收穫高累年比較

| 年次 | 收穫高 |
|---|---|
| 明治四十二年 | 二、四六四、五八八石 |
| 明治四十三年 | 二、六四六、八九〇石 |
| 明治四十四年 | 二、九七八、〇三三石 |
| 大正元年 | 三、一一八、五一〇石 |
| 大正二年 | 三、七〇七、八三〇石 |
| 大正三年 | 三、二一二、四六四石 |
| 大正四年 | 三、四八一、〇七一石 |
| 大正五年 | 三、七六三、八六一石 |
| 大正六年（豫想） | 三、五四一、六八八石 |

地方別豫想高及び前年との比較

| 道名 | 本年豫想高 | 前年實收高 | 比較增減（△減） |
|---|---|---|---|
| 京畿道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 忠清北道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 忠清南道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 全羅北道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 全羅南道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 慶尙北道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 慶尙南道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 黃海道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 平安南道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 平安北道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 江原道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 咸鏡南道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 咸鏡北道 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 總計 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

# ○津野大佐來期

陸軍省軍務局課長陸軍大佐津野一輔氏は朝鮮視察の爲め近く渡鮮す可く入京期は二十一日頃にて滯京三日間の筈なり

# ○鹽澤大佐出張

鹽澤京畿道警務部長は池田主計其他を隨へ十九日午前七時半京城發自動車にて加平方面へ出張廿日歸任すべし

# ○古谷代議士元山行

十八日夜入京せし代議士古谷久綱氏は十九日午前九時二十分京城大門驛發列車にて元山に向ひたるが一泊の上二十日歸京すべしと

# ○專賣課長出張

總督府專賣課長平井三男氏は十七日附を以て忠淸南北及び全羅北道に出張を命ぜられたり氏は二十日朝南大門驛發汽車にて出發の筈なり

# ○東拓重役歸期

東上中の川上高瀨兩東拓理事は夙に歸鮮の豫定なりしも新社債の發行本社の開設準備臨時總會の開會に關する交渉等多忙にして尙ほ滯京中なるが其の歸期は二十六日の臨時總會を濟せし上なるべく多分石塚總裁と相前後せん

# ○山成理事北行

入京中なりし山成東拓理事池田支配人の一行は十八日夜千代本に於ける三井物產の招宴に列し同夜九時四十分南大門驛發列車にて北行したり

# ○鮮銀幹部異動

朝鮮銀行にては十八日附左の如く幹部の異動を行ひたり

司事　佐藤得四郎
東京支店長
東京支店長　吉田節太郎
本店詰

右佐藤得四郎氏は去る八日米國より歸朝し目下東京滯在中にて吉田氏は東京支店長在職の儘英國に出張中近く歸朝すべく其の本店の地位は未定なり

# ○東拓社債應募

朝鮮銀行の賣出しに係る東拓新社債は內地各店の取扱ひ分は東京支店之れを取り纏め鮮滿各店取扱ひ分は本店に於て取纏め鮮滿各店の報告を蒐集しつゝあるが十八日滿洲に於ける賣出しは京城約二萬圓地方各店合計總額約三萬圓に上り第一回の成績としては良好の方なり

# ○東拓滿洲支店幹部

東拓の大連出張所長に就任すべき參事安東義喬氏は過般來入京中なりしが十八日午後九時四十分發列車にて開店準備のため大連に向へり又奉天支店長に任ぜらるべき參事吉野小一郎氏は兩三日中赴任の筈なるが右と相前後し大連奉天兩支店に勤務すべき社員中の未赴任者も渡滿すべしと

# ○鮮銀青島支店準備

朝鮮銀行の青島支店開設準備は其後著々進捗し店長以下行員も內定したる由なるが目下の所十月中旬若くば下旬開店の豫定なりと

# ○內地電報延著

十九日午前中東京朝鮮間の電信線に故障を生じ同線に依る電報は三時間以上延著す

# ○藥劑師講習會

警務總監部にては衞生試驗所々在全南、慶南北、江原、咸南北の七道より藥劑師を召集し十九日より五日間總監部樓上に於て講習會を開催せり二十一日には中央試驗所及び纛島水源池等の見學をなす筈

# ○藥劑技術官會議

京畿道を始め八道の藥劑技術官會議は十八日より警務總監部に開會分析研究其他衞生上の要項に關し審議中なるが二十二日終了の豫定なりと

# ○教員養成所生徒募集

京城中學校及び京城高等普通學校にては今般夫々同附設臨時小學校教員養成所及び附設臨時教員養成所生徒三十五名宛を募集せるが右志願者は來る十月二十五日迄に各自志願の學校に到著する樣入學願書履歷書戶籍謄本及び身體檢査書を添へて提出すべく試驗場所は內地に在りては受驗希望の道府縣廳に於て朝鮮に在りては京城中學校に於て國語、漢文、數學（代數算術）、圖畫（自在畫）に就十一月十三十四兩日午前九時より選拔試驗を舉行すべしと尙詳細は京城中學校に就承合せらるべし

# ○參謀長の記者招待

駐箚軍參謀長市川堅太郎少將は來る二十日午後七時朝鮮ホテルに在京城各新聞通信代表者內地有力新聞特派員軍司令部出入記者等を招待し晩餐會を催す由

# 【鎭南浦】

▲八月末銀行帳尻　三銀行帳尻は預金百參十三萬圓貸金二百十四萬圓にして是を前年同月に對比せば前者は四十萬圓後者は百十參萬圓の增加なるが貸金の激增は米穀及び輸移入雜貨の騰貴其一因を爲せりと雖も主として經濟力の膨脹及び活況を物語るものと觀るを得べし

▲開港二十年祭　十月一日は大神宮の祭典當日なるのみならず始政記念日にして別けて開港二十年に相當する日なる爲め盛大なる祝賀會を開催すべしとの議各方面に行はれ居れるが府廳及び會議所發起の下に近日協議會を爲し成案すべく各町は町內にて夫々山車其他の趣向に出づる事とし主催者側は神社境內にて祝賀會を開き開港當時の居住者に記念品を贈呈すべく別に店頭陳列會を組織し各店同一步調の下に割引大賣出を爲す計畫ありと

▲製鍊所山神祭　本月三十日は舊盆にて久原製鍊所に於ては例年不斷の爐を止めて休業し山神祭を行ふ例なるが當日は所員就業員の慰勞的意味の企てあり市民の重立ちたる者をも招待し盛大に舉行すべしと

# 【大邱】

▲大邱新大豆初荷　大邱に於ては去る十七日西門市場に約四十俵の新大豆現はれ大邱商店及び金文在商店に十一圓五十錢にて買收されたるが本年の初荷は昨年に比し時期に於て四日早く相場は三圓五十錢高なりしと

▲大邱府水道工事　大邱府水道工事は今や大部分を進捗し僅かに鐵管敷設工事中約千間を殘せるのみにて遲くも十月上旬迄に全部の竣工を見るに至るべしと

▲三大隊射擊演習　大邱步兵第八十聯隊第三大隊將校以下三百名は十八日午前七時營舍出發漆谷に行軍し射擊演習を行ひ夕刻歸營したり

▲憲兵隊集合教育　大邱憲兵分隊に於て來る二十六日を以て直轄及び達城郡內各派遣所出張所の憲兵補助員を召集し集合教育を行ふ筈

▲大邱讀書會例會　大邱在住內地人青年に依り設立されたる讀書會は今後毎月第二土曜日の夜上町在鄉軍人集會所に於て例會を催す事に決定す

# □一寸永興まで（四）

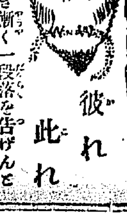
京元線車中にて　李光洙

◇鐵原驛からは鐵原城の西門外の一角が見ゆる丈だ。鐵原は中々大きくて財產家も多く住んで居るさうである◇鐵原からもう少し行くと同じ高原の中に月井里なる寒さうな名前の小驛がある。此は今でこそ一寒驛に過ぎないが一千年前新羅の終り頃弓裔の都であつた所で此の邊で弓裔が天下を睥睨したのであらう。驛から二十五町位の櫻川原には弓裔居城の跡で今でも此の近所には石塔や石燈籠等が殘つて居るさうである。驛の西方に慶州の半月城に一寸似た樣な珠數の樣な丘陵があつて其の上に數本の奇松が拔けた顏をして立つて居るのも面白かつた。◇行けば行く程高原のうねりは愈々太く、激しくなつて蕎麥の花さへ見えなくなつて川の流れる深い窪みが非常に物凄く眼に付いた。益々無人の境に這入るのである◇汽車は福溪に着いた。驛の西方には弓裔と王建との古戰場があつて恰かも天を覆うた雲が破れて傾いた日光が其の當時血煙の立つた邊りをぱつと照らした。そうすると黃ばんだ草やすゝき等が風を迎へてざわ〳〵と騷いだ。恐らく其處等中秋の色々な蟲がうら悲しく鳴いて居るであらう。◇福溪を過ぎると高原的色彩は愈々鮮かになつて僕の樣な平原の者には實に一驚異であつた。地面のうねりは其の太さに於いて深さに於いて殆ど發達し得る限りに發達して居つてもう蕎麥の花とか栗畑等も見わず、一面黃ばんだ草や夢幻的なすゝきのみで言語に絕する。其のすゝきの多いことは實に庭に二三本のすゝきを植ゑて渴をごまかして居る人々に思ふ存分見せたいものだ。未だ開き切らないでどんよりと灰白色をなした數萬町步に渡れるすゝきの海、其に蕭悲たる秋風が吹いて來て蕭々殺々と波立つ其のすゝきの海は壯觀たるを失はぬ。若しも月夜一人此の中に立つて此の聲を聞きつゝ悠々と此の景色を眺めたら如何許り壯觀であらう。此處には未だ人跡が至らぬので地球の表面が十分冷めて草木が生じ得る樣になつてから其の儘なのだ。野生の草さへ年中延びて一尺を超ゆることが出來ぬ停車場の構內に植ゑたアカシヤさへも結核患者の如く黃色い顏をして延びて居ると云ふのだから穀物等出來よう筈がない。此等の高原はすゝきの世界として、秋の世界として出來たのである。人間の方から云へば只眺められる爲に出來たのだ。強いて實用を求めたら牧場にすることであらう。其處等一杯羊や馬の群が蠢めいて居つて此んな夕陽に凄涼なる牧笛を聽く樣になつたら嘸面白からう。

# 人事消息

▲岩村俊太郎氏（土木局釜山出張所長）　十九日午前入京
▲平賀宣三氏（三南銀行專務）　十九日午前江景へ
▲森藏氏（木浦農銀支店長）　十九日午前退京
▲西村信教氏（滿鐵經理課長）　十九日午前內地へ向け通過
▲小野虎太郎氏（朝鮮新聞主幹）　十八日夜入京
▲仁川商業學校職員生徒三十六名　十八日午後鎭南浦より歸仁
▲牧山耕藏氏（代議士）　十八日午後永同へ
▲上杉文秀氏、稻葉圓成氏（大谷派佛敎大學教授）　十八日午後釜山へ
▲大倉公望氏（滿鐵貨物課長）　十八日夜內地へ
▲齋藤音吉氏（運輸會社長）　十八日午後內地へ
▲安東義喬氏（東拓大連支店長）　十八日午後大連へ
▲片岡衛氏（遞信省事務官）　十八日入京南山旅館へ
▲永田光之助氏（鐵道技師）　十七日附釜山、東萊、浦項に出張を命ぜらる
▲高義敬子（李王職事務官）　歸郷中の處二十一日出發歸任

# 彼れ此れ



○叛將騷ぎ漸く一段落を告げんとする露國は、更に益々大危險に向つて、進まんとしつゝあり。勞兵會の支持に依れる首相が、果して新政府の首班たり、且つ獨裁官たるの地位を、保持し得るや、否や、疑問たらざるを得ず。

○コルニロフ將軍の失敗が、一般知識階級の、深謀遠慮ある計畫の途中にも、一大蹉跌を生ぜしめしと雖も。此の間ミリコフを中心とせる立憲民主黨の活動は、見逃すべからざる、重大問題なりとす。

○卽ち同黨內にて、アレキセーフ將軍に內閣を讓渡すべしとの說あるも、勞兵會の有力者たるゴッエム、ツエレテリー兩氏この間にも、政權讓渡問題に關し、協議しつゝありと報道に見るも。一時の小康は、却て大颶風の來るべき、前兆たるやの觀なくんばあらず。

○要するに露國政界の、全く安全にして、戰爭の遂行に專らなるを得るは、果して何の日に在るか、前途甚だ遼遠なるは、遺憾千萬也。

國境宗演和尙擧衣國語提唱　外堀　渡邊彥

上堂、拈華、莊路、末了、案頭、鎮論、音入定、六道微笑香。秋風秋色弄人心。

# 北朝鮮開發の鍵は

## 鐵道と相俟つて連絡航路の開始

◆到る處頗る豐富な鑛物を藏してゐる◆

廣瀨主計監談

北鮮地方に於ける兵營新築工事視察より此の程歸任したる臨時經理部長は語つて曰く

北鮮地方には今回で二度目の旅行であるが相變らず其の進歩開發の度は遲々として居る、何分交通不便の爲め今度も

◎元山咸興等の工事を視察し更に元山に引還へし海路城津を經て淸津より羅南に赴くといふ風であるから北鮮の旅行は却々不便である同地方に於ける各營舍工事は何れも豫定期限通り十月中に竣工を告ぐる筈である北鮮地方の工事は何分木材の不足に困んで居る

◎豆滿江流域に於ける營林廠木材も運搬の不便と材質の適當なるものが少い爲めに、餘程困難を感じて居る、其の上今年は木工煉瓦職工等も不足勝ちである爲めに工事の進捗も少からず支障を來して居る更に土地開發といふ上から見ても北鮮縱貫鐵道の開通の速かなる事を望まざるを得ない、北鮮地方は

◎頗る豐富なる鑛物を藏して居ると稱せられて居るが今の所、三井其他二三の者が僅かに着手したばかりで其他大規模の鑛山經營は殆ど絶無である之等も交通不便といふ事が其主なる原因を爲して居ると思ふ而し明年度より淸津城津元山を聯ねて敦賀との

◎連絡航路が開かるゝ筈である故に北鮮鐵道の開通と相俟つて北朝鮮の開發を爲すであらう淸津は將來吉會鐵道の開通の曉に至らば日本內地と大陸との重要なる連絡港灣となるであらう而して北鮮鐵道の開通及び吉會線の連絡を見る迄は現狀以上に大發展を見るに至らざるべし

◎淸津及城津の二港は築港には莫大の經費を要すべく寧ろ日本との連絡航路開かるゝと雖も吉會線開通に至らざれば淸津の築港は容易に實現せらるゝに至らざるべし北鮮地方の山林は京畿道地方及び南鮮地方の山林に比すれば蓊鬱たるものあれど未だ何れも樹齡若く築建用材等に堪ゆるもの甚だ尠し

## ◉宇治黃蘗山萬福寺の破綻

宇治黃蘗山萬福寺は財政の紊亂其の極に達せるが負債は二割を支拂ひ殘額は明年六月までに皆濟する事として解決したり（大阪特電）

## 諸言から我が北京正銀支店取付に遇ふ

諸言の府北京は流石に仲々振つた諸言が流布され之れが爲め內外人の蒙れる損害亦た尠からざるが去る十四日より我國に對し唱飯に堪へざる諸言を一つ者ありて曰く（一）日本は既に銀塊輸出禁止を爲せり、故に正金銀行は日本より銀を輸入し能はず茲に早晩兌換停止を行ふに至るべし（二）日本銀行金の缺乏せるは同行兌換停止を實行せし爲めなり、日本は中央銀行既に斯の如き狀態なれば正金銀行亦た兌換停止せざるべからず（三）露軍敗戰の結果獨軍西伯利亞に攻入せり故に日本は近く滿蒙に出兵する事と爲り在留の日本人は全部本國へ引揚ぐべく天津に於ける新市街は前述の如く鐵道理事を廢車にせるが如き此則難なりと而してこの風說の生ずるや金錢に對し特種の注意を拂ふ支那人間には忽ち正金紙幣の引受けを拒絶する者生じ之れが爲め我が正金銀行支店は時ならぬ取付けに遇ひたるも準備金豐富なる事とて時間前よりドシドシ紙幣の兌換に應じたるには何れも案に相違し手持無沙汰の體なりしも爾後は正金支店に殺到せる兌換者が押合ひ［illegible］

## ◉一時晴れる

### 低氣壓の遁走

昨今の天候は雲行が怪しくなつて十九日は驟雨を見たので京城測候所員に就て天氣の模樣を聞いて見た

十八日支那山東省の南方に低氣壓が現れ同夜中徐々に遼東半島の南岸に沿ふて東進したので十八日朝鮮各地は南の風強く又た滿洲殊に遼東半島は

▲北の風強く　一帶に雨が降つたのであるが、此の雨は鴨綠江口の龍巖浦附近に於ける七十ミリメートル餘を最大とし次は大連の六十ミリメートル、咸北城津の三十五ミリメートル、元山の三十ミリメートル等で其の他各地とも多少の雨があつた、而して京仁地方は幸ひ低氣壓の後面に方つてゐたので僅かに三ミリメートル位の雨量であつた、處が十九日朝

▲此の低氣壓の中心は平安北道に上陸して午後二時頃には將に日本海方面へ出るだらうと想像されるので夫れが爲め京城地方は十九日朝猶ほ雨が斷續として降り約七ミリメートル許り降下したのである併し此の低氣壓は間もなく日本海方面へ逸走する見込であるから二十日朝にもならば桑天乍ら或は

▲雲の切れ間から晴れたる蒼穹を眺る事が出來るかも知れない因みに二十日朝（六時）の溫度は前述の關係から溫度が例年より高く平年より華氏で約九度許り上つてゐたと

## ◉汽船多聞丸行衛不明

仁川に船籍を有する汽船多聞丸（二千四百四十四噸）は上海より門司に向け航行中七日夜呉淞を通過したる後全く其の消息なく多分八九日頃の暴風浪に遭遇して行衛不明となりたるもの如く目下關係沿岸にて警戒手配中なりと

### ▲遭難したかも知れぬ

船は時價百八十萬圓＝積荷の鑛石を合せると大變な損害だ

今回行衛不明となりたる第十六多聞丸は西の宮八馬商會の所有船で本年五月仁川に船籍を移し同時に三井物產に傭船し漢口若松間の鐵鑛運搬に當てゐたので船長志摩靜四郎以下四十五名の乘組員が乘船して居る筈である七日の夜半呉淞を通過したとすれば其三日目即ち十一日には若松に到着して居なければならぬに今日に到るも何等の消息の無いのを見るとどうしても九日黃海に現はれた低氣壓のために遭難したのではないかと思はれる商會では取り敢へず十六日海軍省及び仁川海事出張所等へ搜索願を出して置いた、船は二五百噸時價百八十萬圓のものであるから積荷の鑛石を合すると大變な損害である（所長玉暖師次郎氏談）（仁川電話）

## ◉縛上げて亂打

▽控訴して減刑となる

咸北明川郡下古面周儀洞趙學濟（五〇）は妾李洋琴の妹李尙蝶が阿間面茶洞里趙元璧の倅趙基旭に嫁したるに姑朴仁宣より虐待せられ其の結果本年三月二十六日尙蝶が死亡したる旨を聞きて仁宣方に赴きたるに不法虐待を……に組み居ることゝて必定姑朴仁宣が死に至らしめたるものと思ひ込み聖獵及び妾洋琴の兩名は直ちに仁宣を捕へ荒繩にて縛し上げ數時間に亘り亂打したる爲め仁宣は遂に翌朝絶命するに至りし事露顯し聖獵は咸興地方法院にて懲役五年の判決を受けしを不服とし京城覆審法院に控訴したる結果前判決を取消し懲役一年の處分となりたり

## ◉衝突して沈没

京畿道江華郡良道面乾坪里沿岸にて九月十一日午後一時頃繋留中なりし富川郡北島面金昌突外五名乘組みの帆船（二百石積）が俄かに暴風に襲はれ他船と衝突して破損浸水して遂に沈没し積荷なる瓦三十五個食鹽等三十六圓を流失し乘組員は辛く上陸せしが附近人夫二十名來援して船體は淺瀨に引き揚げたり

## ◉咸南に降霜

咸南豐川郡里仁、安山、安水等の各面地方は本月八日より氣溫頓に下降し攝氏三度を示し多量の降霜ありたり但し農作物には何等の被害なしと

## ◉米國より珍客來る

最初の日本訪問團の一人

沙市來電＝ペルリ提督の日本訪問團中唯一の生存者ボートランド在住のハーディ氏は十月二十九日出帆の汽船にて日本を訪問し演說をなすべし（大阪特電）

## ◉憐なる一家の歸鄕

社會の同情によりて曾つて本紙に憐れなる家庭として記載せし京城大和町三丁目居住元巡査木內庄吉一家は同情ある社會の人々に依り今日迄生計を營み來りしが本町警察署にても種々斡旋の結果寄附により得たる同情金二十五圓許に京城府よりも幾分の旅費を立て替へ家族は一兩日前南大門驛發の列車にて鄕里宮城縣へ歸還せり

## ◉慈善病院に棄て兒

十八日午後一時頃京城南大門通五丁目セブランス病院前に一人の鮮人幼女が泣き居るを同院にて發見し本町署の警官が出張取調べしに權立分（七）と言ひ母は無く父權鳳安が同院前に同伴し來り明年向ひに來るから此家に居れと言ひ遺し立ち去りたるより一定の住所もなく徘徊し居れりとのことにて多分乞食が生活難の爲めセブランス病院に遺棄したるものゝ如く立分は京城府に引渡し目下濟生院にて養育中なりと

## ◉大戰の教訓（二）

▽理學博士三宅驥一氏談△

### ◇空中から窒素を採る獨逸

わが日本が假りに獨逸のやうに封鎖されたら何うなるか、日本國民は大和魂を有ちながら餓ゑなければならぬ、顫へなければならぬ、這回の大戰は各國共に物資の自作自給、產業の獨立を敎へて居る、就中——餘事はさてをき——日用品だけはどうしても獨立して國內で間に合せなければならぬ

此のことに就いてはアレ丈け用意周到な獨逸にも手拔りがある、各國共に頗る苦い經驗を嘗めて居る、日本なども近來此の點に就いて注意して來たが今後共益々用意しなければならぬ、知つての通り獨逸の科學といふものは却々進歩したものであるが其の科學を以て殖產興業に應用した力も亦偉大なりと云はねばならぬ、例へば獨逸には今國內に綿がない、綿は衣服を製る他戰爭に用ふる爆發藥にも必要である、其處で頃日は綿の代用品を木材から採ることを發明してゐる。

獨逸は未だ外國から豚油を盛んに輸入してこれから爆發藥に要するグリスリンを採つて居た、然るに英國に於ては棉花や豚油がこれほど戰爭に大切な事を知らなかつたので糧を敵に送るとも心付かず戰時禁制品とすることを忘れて居た、何分英國のやうに辯護士や法律家出身の政治家連中では緊急の間の拔けたことも無理からぬ次第であるが早く禁制品にすれば敵の一軍團や二軍團潰すより得策だつたのである。

併し幸に英國の科學者達がやかましく云うてとう／＼禁止したのは何よりの事であつた、今日のやうな時代に於ては科學は獨り殖產工業の基礎となつて居るのみならず實に戰爭の勝敗を決する一の要素ともなつて居る、彼の潛航艇といひ航空機といひ何れも科學的の戰爭に他ならぬと云ふべきである、現にわれ／＼の立場から見れば獨逸は今二人の科學者の力によつて戰爭を繼續して居ると云うてもよい。

即ち一人は空氣中から窒素を採ることの發明者ハーバー博士と一人はアンモニヤを硝酸に變へることを發見したオストワルト博士その人である、前者の發明は今日獨逸が四面敵をうけつゝ硝石に困らぬ理由である、硝石は世界の產地智利から供給されそして火藥の原料である、即ち電氣の力で空中の窒素を採り窒素の硝酸ナトリウムを加里に變へるのであるス博士はカイザア、ウヰルヘルム、インスチチュートの科學部長として戰前三四年の頃此の仕事に著手した、今は獨逸の瓦斯の隊長である、次にオストワルト氏の硝酸を採る發明も獨逸が戰爭をつゞけ得る原因である、硝石の無い日本、硫酸アムモニヤの肥料二千萬圓を輸入する日本は獨逸の事業を學ばねばならぬ（つゞく）


賣船

船客用　發動機船●貳拾噸●速力六半

貳級洋形帆船●百七拾噸●本月末進水

御望みの方は大至急

新義州　多田商會


## 讀者文藝（一等に一圓　二等に五十錢）

◎『悲慘なる一家』へ　石川彌三郎一家へ其後の同情金

▲金一圓京城本町河內よね子▲金五十錢京城工業專門學校一生徒

▲一口噺『其時々の事』

○讀者『大分補助貨拂底の聲が聞へるネ』拔作『道理で俺の財布に一錢の錢もない筈だ』（一等）　群山　ケイエイ生

▲奸婆家『愈々明日から雉子を撃つて來るから君にも遣ろうよ』皮肉や『ドーカ正札だけは除けといて呉れ給へ』　元山　內山漢照

▲奧樣『お鍋火を焚き付けるのに石油なぞ使つては不經濟だよ』お鍋『だつて奧樣石油を使はねとマッチが澤山入つて困りますマッチは五倍の騰貴ですよ』　利川　守山

## ◉市場及屠畜狀況

京畿道管內に於ける大正五年度市場及び屠［illegible］

▲屠場及屠畜稅　屠畜及屠畜場數百四十五にして屠畜數牛八萬四千八百九十五頭豚一萬四百［illegible］

［illegible］の需要增加したる結果屠殺數著しく激增したるものなるも五年度に在りては經濟界の好況［illegible］

## ■募集規程

［illegible］

# 商況

**東京債券現物特電**（十八日出來値）　五五、〇〇　一一七、八〇　一三二、〇〇

**東京公債直取引**（特電）　八一、七〇　八〇、七〇

**深川在米特電**（十八日現在高）

**東京期米特電**（後場）　一二三、七〇　八四六、七九　一二七、四一八〇

**大阪株式**（十八日前場）

**大阪三品特電**

**大阪期米特電**

**下關期米特電**

**雜報**

## ◉正米愈品ガスレ

［illegible］

## ◉滅切氣配高　仁川

［illegible］

## 慶尙方面の一部　結局釜山方面の人氣

［illegible］

## ◉燐寸急騰す

場の漸騰　眼先尙相

## 安全は阪地の一部に遂に其賣止

［illegible］

## ◉保合ひ上岐乎

新市發會後永々の保合に人氣倦みたる折しも［illegible］前場更に前日の高値、九錢を上廻り二十九錢の新高値を呼ぶ等將に保合上岐れの感［illegible］

## ◉新昆布氣高し

產昆布は冬季の姿振進しかりし爲め當時草根の被害多かりし結果各場所を通じ減收の趣にて此度新荷は諸物價高と相俟つて頗る强硬なり產地相場は昨年石當り三千五六百圓のもの今年は六千圓內外に上りたれば從つて該新物値段としても出昆布上物十貫目十七圓處　約四圓高

## 四十五圓五十錢仁川渡し安全四十二圓餘との入電

［illegible］

## 新運賃に因

［illegible］

## ◉澱粉は不勢

［illegible］　一般人氣は尙

## 前途を悲觀

［illegible］

## 北鮮產の小口物散在

［illegible］

## ◉小豆と胡麻走り

［illegible］

## 釜山穀物（十八日）

［illegible］

## 生果市場

▲釜山水產市場（十八日）入船數一百九十二艘　［illegible］

## 仁川期米

▲十九日前場（强硬）

▲兵庫前場二十一錢　大阪天候晴天　［illegible］二錢安


㋑　仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　仁川海岸町三丁目　電話長三三七番・三六八番


## 入電にて大阪二節〇八錢三節〇八錢四節〇五錢の移り

## 大阪八節二十一圓二十九錢と臨時高

## 入電に更に四十一錢と上伸し强硬


田中金兵衛商店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目


## ▲俄然强硬

市場零聞

## 白米更に引上ぐ

の二十二圓八十錢高　小賣値

## 京城雜穀

## 南大門の廻穀

## ◉千瓢新物出廻る

## ◉罐詰類持合

## 十錢見當二十二圓五

## 七分作

## 仁川米豆取引所　十九日の十一月限


ナ　仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目


## 白米標準値

小賣白米

二十二圓八十錢

## ▲黃海道作況

## 六歩作の見込又稻

## 一段の高値演出

## ▲形勢一變乎

## 正米界の强硬と相待つて形勢將に一變の徵

## 新規に利喰　賣り向


㊂　仲買店　仁川米豆取引所仲買人　西川平治郎


小雨後晴れ

# 進んで米國兵になつた日本人

義勇兵制度であつた米國にも歐洲戰爭の起つて以來徴兵令が布かれて男子は之に應じなければならない所で米國に在住して市民權を有する外國人も

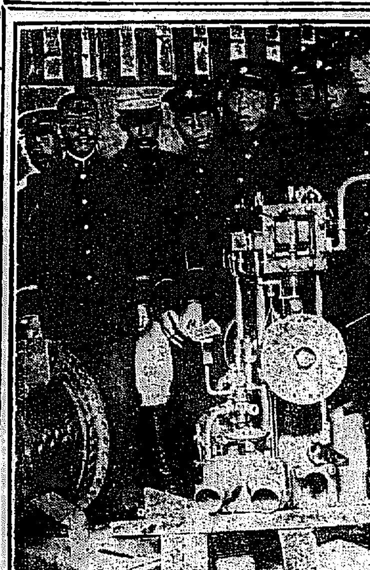
■徴兵の義務 を負はなければならぬが然し外國人には免役と云ふ特典があつて日本人も之に均霑して居たのが最近に至つて領事の證明がなければ日本人の免役は叶はぬと云ふ規則を設けて頑張つたのが加州羅府の第十七區免役所である、大分手古摺らせて居た所へ

■一名の邦人 が進んで米國兵になり度いと申出でたから免役所の方でも聊か面喰つた形であつた、それは廣島縣人を父母とした布哇生れの米國市民林勘一(三)と云ふ男である勘一の父母は早くから布哇に移住して廿六年間も母國を外にして居る間に勘一と其の弟の正一を儲け二人の子を後に現住所の廣島市入船町へ歸つたのは一昨年の事であつた

■勘一は目下 羅府南ルーミス街六二五に住んで居るが丁度八月八日の徴兵檢査に出で尾首好く合格し茲に日本人として初めて米國の兵隊になつた者が現はれたのである、余が勘一を訪ねたのは其の翌九日であつた、彼は打見た所身の丈五尺五寸以上もあらうか細身ではあるが頑丈作りで

■米國の兵士 に出しても先づ恥しくはない彼は次の樣に語つた『私と弟との正一は二人共羅府で登錄しましたが親子共に米國の恩澤を被る所が多いので兄弟の中一人は合格した方が兵隊になつて幾分の恩返しをしやうと申し合せて居た所が今度私が合格したので徴兵に出る事になつたのです、第十七區の免役事務所へ行くと役人は日本人と見て早速

■免役要求書 を渡さうとしますから私はそれを突き戻して身體檢査を受けるのですと云ふと變な顔をして居ましたが軈て檢査醫の方へ行くと醫者は丁寧に檢査して良い體だと褒めて呉れました、それから委員の所へ行つて兵隊になりたいと要求すると大勢寄つて來て握手を求めると云ふ有樣で大いに面目を施しました、召集されるのは九月中でせう私の妻は今廣島の父母の許に居ます』(大阪)



□消防機關講習 京畿道警務部常備消防隊では十七日から南大門消防所で消防機關の講習會を行つてゐるが宮内消防講師の下に機關の分解說明から組立てに移り小隊部以下各消防手は何れも熱心に研究中である

# 秋の仁川

## 山に茸狩り─野に散歩─海に鯊釣

野路行けば稻の穗は揃ひて秋の水清く山路行けば紫苑、刈萱、女郎花咲き亂れ海行かば秋風に帆を孕ませて釣を垂れる事の出來る仁川は秋の惠を野に山に海に多分に受けて居るのである

▲山に茸狩り 仁川に程近くて初茸の多い山としては先づ東山農場附近、牛角里、朱安、文鶴面附近であるが此の中牛角里東山農場附近は秋雨しとしと降る中をも厭はず茸狩りする者もある程で日曜の如きは夥からぬ人出がある爲めに茸は殆んど狩り盡されて了つたが朱安驛附近の山麓から山嶺一帶にかけては隨分場所も廣い爲め可成りに發生して居る模樣で今日今頃は仁川から行く者も尠くなく日曜の如きは數百を以て數ふる程であるが何れも相當の土産があるらしい

▲野に散歩 仁川で野の遊びと言へばどうしても東山、平山農場邊を訪問せねばならぬ農園は今林檎梨等の美果累々として花見るよりも美しく一果を購ふて咽喉を潤ほすも又一興であらう農場から海岸を傳ひ海を越ゆると其處には風光明媚な玉蓮里の濱がある握飯の用意して一日の行樂を恣にするには最も適してゐる處であらうと思ふ

▲海に鯊釣 仁川は今鯊釣の最好期で仁川の海を語る者にして鯊釣の妙趣を解せぬ事を恥辱とし鯊釣の妙味を知つて今頃の海に親しまぬ者は語るに足らぬと言はれて居る程左樣に仁川の鯊釣は盛んな者である十六日の日曜は府廳の職員其他諸方面から多數の愛釣家が港内に點在する島々に遠征を試みたが何れも非常な獲物があつたらしい

## 渚の砂

■誤つて劇藥を飲む 東京本所押上町上田伊勢吉(五一)は東京相撲朝汐一行に隨ひ伊勢四日市驛に到着した際咽喉が渇いたので驛に這入り傳染病豫防用に備へつけてある昇汞水を水だと思ひ遂へて飲み下したが大騷ぎをやつて醫師の應急手當を受けたから一命だけは辛つと大丈夫

■遊所で血の雨 大阪府泉南郡佐野町生れ井上榮治(三四)は岡新地町遊廓大福樓で遊興數の事から仲居高木きく(三五)と樋口鐵治(四四)の兩名に重傷を負はせた

■梨の種探し 米國オンメン州植物檢査所の技師エフ、シー、レーマー氏は梨の原種樹を探す爲め内地各縣を歩いて居るが昨今目的のものを伊勢の四日市附近の村で發見した

■娼妓は勇士の娘 西南戰役に南洲の部下として奮戰した鹿兒島市鍛冶町居住の肥後良之助の娘倹子(一九)は一家の生活難から娼妓になつた

■學生の自殺 静岡縣田方郡函南村熱海仁田大八氏の實弟多喜男は高等學校の入學試驗に不合格を悲觀し十四日夜小田原の旅館で劇藥自殺を遂げた

■大賊は資産家 富山縣西礪波郡石動町生れの盗賊宇右衛門(四五)は二十萬圓の資産を讓り受けたが放蕩の爲め財産を費ひ果たし本年五月から東京で窃盗をし初め旅行先から二萬五千餘圓を掏り取り盗賊中に逮捕された

■大袈裟な拾物 大阪南區夕日梅北詰めに鐵物屋の機械器三個(重さ百五十貫)のものを荷車に積んだ儘乗てあるを車夫が發見し遺し主を探したが分明せず拾得品として警察へ屆け出た

■母子の自殺 鳥取市水源地の管理人西垣政明の妻よし(二六)は夫が放蕩するのを苦にし十四日長男亨(四つ)を貯水池に投げ込み己れは石炭酸を飲むで自殺を遂げた

# 昨年の京城地價

客年中に行はれたる京城府内に於ける土地賣買價格狀況を見るに一町歩に對し左の如き價格なり

▲市街 標準地、(上)京町、(中)漢仁洞、(下)桃花洞とし(上)地税一圓九十六錢價格九百圓(中)地税一圓十九錢價格六百圓(下)地税五十六錢價格三百圓

▲田 (上)地税八圓四十錢 價格三千六百圓(中)地税四圓五十錢價格二千百圓(下)地税一圓八十二錢價格九百圓にして以上の標準地は(上)櫻井町二丁目(中)義州通二丁目(下)南米倉町二丁目とせしものなり

▲宅地 (上)地税八十七圓五十錢價格一萬三千圓(中)地税四十五圓五十錢價格六千圓(下)地税十三圓三十錢價格一千二百圓にして以上の標準地としては(上)南大門通三丁目(中)黄金町二丁目(下)元町二丁目を取りしものなりと

# 一年中一番お産の多い時

## 長い旅行は禁物

一年中お産の多いのは之からで十、十一、十二月は最も多いのです之は皆春先の陽氣のよい時に受胎なさつた事になります姙娠中何方も

◆一番御注意 なさらねばならぬのは遠方への御旅行です能く聞く事ですが何も國の郷元でした方が安心ですからと主人もさう云はれますし御本人も其の氣におなりになりますが夫れがいけない事です二三時間位の汽車旅行なら健康體の方には大抵差支がありませんが夫以上の

◆長途の旅行 なれば餘程危險と申さねばなりません流産早産になる事が誠に多いのです夫れにはないにしても位置を變らしたり難産にする事がないとは申せません第一一家の主婦たる者が主人を措去りにするのはいけない事ではありませんか萬止むを得ず長い旅行をしなければならぬとすれば姙娠六七箇月の内になさい

◆姙娠の初期 と八九月目位が最も悪く早産の憂ひがあるので市内電車人車なども平素慣れた方には宜しう御座いますが慣れない方には矢張禁物です地方の山道などを歩いたりするのは最もいけません姙娠の時に多くあるむくみですがお産さへすれば取れるなどと

◆氣に掛けぬ 方もありますが彼も餘程氣を付けねばなりませんむくみにも(一)壓迫浮腫と(二)脚氣から來るのと(三)腎臓炎から來るものと三通りあつて壓迫浮腫なればお産をすると直りますが他の二つはさう行かないのです腎臓から來るのは痙攣と云つて重くなると

◆痙攣を起し 歯を喰ひ縛り引付ける事があつて一番危險です手當を怠ると母子共助からぬやうな事がありますから子供を出して了はなければならぬ事もあります脚氣から來たのは既に心臓を弱くして居り其上お産の時に努力する爲

◆餘程心臓を 悪くして脚氣衝心を起す事があるのです衝心しないで無事でも産後腰が抜けて了ふやうな事があり又其爲に乳兒まで脚氣に罹る如な事があつて折角の母乳を與へる事が出來ません婦人の脚氣は姙娠中最も多く罹り易い病氣ですからむくみがあつたら姙娠中に治療をして置くべきものです(某醫談)

# 秋季種痘日割

京城本町警察署管内にては九月二十日より左記日割を以て管内居住幼兒の秋季種痘を施行すべしと

▲九月廿日御成座 吉野町一、二丁目、古市町、御成町、南大門通四丁目、蓬萊町一、二、三、四丁目、和泉町、南米倉町、北米倉町、太平通二丁目、義州通二丁目、同一丁目、中林洞、蛤洞、義洞、舜井洞(九月廿七日御成座にて檢痘)

▲九月廿一日前區域朝鮮人

▲九月廿五日浪花館 旭町一、二、三丁目、南山町、南大門通一、二、三丁目、本町一、二、三丁目、西小門町、太平通一丁目、黄金町一、二、三丁目、長谷川町、武橋町、貞洞、茶屋町、三角町、水下町、水標町、長橋町、敦町、日の出町、倭城臺町、永樂町一丁目(十月二日檢痘)

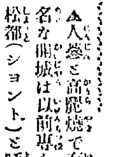
▲九月廿六日前區域朝鮮人

▲九月廿八日稻荷座 黄金町四丁目、五、六、七丁目、永樂町二丁目、若草町、櫻井町一、二丁目、新町、大和町一、二、三丁目、西四軒町、東四軒町、初音町、光熙町一、二丁目、花園町、芳山町、並木町、笠井町、林町、本町四丁目、五丁目(十月五日檢痘)

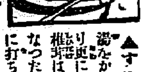
▲九月廿九日前區域朝鮮人

# 船頭の出來心

山口縣美濃郡大井村生れ帆船幸福丸船長高松勘左衛門(三)は釜山港碇泊に船を着けて去る八日上陸して船用の石油外七點代價七圓五十錢のものを釜山富島町雜貨店福富マス方にて買求め十圓札を出して店主に渡し二圓五十錢の釣錢を受け取りこの時他の來客ありて主人は件の十圓札を店先に忘れたるを見て勘左衛門は其の十圓札をソツと掴み自分の懷に入れて立ち歸らんとするを發見され釜山署に檢擧されたり



▲人參と高麗燒で有名な開城は以前專ら松都(シヨント)と呼ばれたものであるそれが開城の名に稱へられたのは極めて近代の事だといふ▲それに就いて近頃落語めいたはなしがある、氏名は鳥渡お預りとする▲ある陸の朝鮮貴族に非常な親孝行な青年があつた▲青年は内地の農科大學にも學び傍ら哲學をも研究した人であるが此の一ケ月ばかり前飄然行方不明となつた▲自邸では平素の性行を知つてゐるから別段心配もしなかつたが最近ヒヨツコリと歸つて來た▲ところが親子の問答といふのが愁うである『なぜ開城に往つて居つた?』『お父さんは漢籍を御學びですか』『それでもどうした漢籍を學んだ者はお前のやうなことはしない』『それでも開城の文字を御覧なさい、他所ならば乾度報せますが城を開けた處へ往くには何も差支ないぢやありませんか』で大笑ひとなつたさうな▲蘇峰先生曰く『朝鮮も頭日來たんぢや一向つまらぬ、紅葉も觀られず雨に逢ふばかりで……朝鮮の秋に逢ふにはモ一度出直して來なくちや』




▲すゐとん 油揚に沸湯をかけてから竪二つに切り更に横三分位づつに切り椎茸は少時水に浸け軟かになつたれば軸を切り落し繊切に打ち箸で大根は細く繊切りとして茹でゝ置きます、それから鍋に煮出汁を入れ醤油で味加減をなし油揚、椎茸、大根を入れ一沸立した處へ別に饂飩粉を鉢に入れ水にて蕎麥團を作る樣に掻き手にて軟かにざつと捏ね少しづゝちぎつて前の汁の中に入れ充分火が通つたら下ろし椀に盛ります

# 一代に百萬の富を作る決して難事に非ず

## 予が現に實行しつゝある利殖法　何人にも容易に實行し得る方法

株式會社富强世界社專務取締役　大迫利亮

▼金は誰にも出來る 世の多くの人は金は出來ないものであると思つて居る、一代にして巨萬の富を蓄積するさ云ふが如きは、明治維新の時のやうな世の中の秩序がキチンとして居ない時の事であつて今日のやうに社會の組織が萬事組織立つて仕舞つては、無一文から俄かに成金となるやうな事は到底出來得るものではない、況んや一代にして一百萬圓の富が得られるさ云ふやうな事は全く空想である、空理空論であるさ一笑に附する人が多いであらう、併し金は作らうさ思へば必らず出來るのである一代に一百萬圓の富を得るさも決して難事でない、疑ふ人は來つて先づ予が如何なる利殖法を實行しつゝあるかを調べて貰ひたい。

▼成功致富の實例多し 昨年十月、時事新報の調査掲載したる五十萬圓以上の全國資産家表を見るさ、現在我が帝國に於ける五十萬圓以上の資産家は合計二千二百〇一人であつて、之れを前回の調査即ち明治四十四年七月の調査に比較するさ、其の數に於て實に一千百七十六人を增して居る、ツマリ此の五年間に於て五十萬圓以上の資産家が一千百餘人增加したのである、而して此の事實は取りも直さず、社會の秩序が整然とした現代であつても、尚且つ金は出來るものであるさ云ふことを證明して居るのである。

▼金の出來ぬ理由なし 然るに金が出來ないと云ふのはツマリ苦心が足りないのである、信念が無いのである、予は此の點に關して多年苦心の結果、先づ富を作らんと欲するものは、第一條件が金利の觀念を養ふことにあるを深く感じ日夜專念、約十年の長きに亘る金利の研究に没頭し、自ら又、自己發案の利殖法を實行して二ケ年足らずの間に約十万の富を作り、又更にこれを關係の會社商店に應用して良好なる實績を擧ぐるに至つて、金利の實に侮る可からざる事を發見したのである。

▼天下の富豪金利を恐る 三井、三菱、住友の如き大富豪であつても茲に假りに、僅かに一萬圓の借金があつて其の借金に年二割の利子が積つて行つたさ假定するさ、其の借金は五十一年目に驚くべし、實に一億一千万圓の巨額に上つて、三井、三菱の富を以てしても尚且つ破産の運命に陷らなければならぬのである、故に之れを反對に見て茲に一萬圓の財産を有するものが、其の金を年二割の利廻りにするさ其の人は五十一年の後には三井、岩崎が出來るのである、併し、今現に無資産の人には此の論法では通用しない、即ち茲に先づ資金の百圓の利殖法を講じて、更に終る後に、其の一百圓から巨万の富を作り出す實行方法を述べる事としよう。

▼百圓の資本で百万圓 茲に一百圓の資金を持つて居る人があつて其の人が其の一百圓を年二割の金利に廻したさ假定するさ一百圓の元金は五十一年目には元利合計金一百十万圓となるのである、又一百圓の元金を以上の金利に廻すさ二十三年目に一百廿五万圓となり、年三割に廻せば三十年目に一百二十二万圓となり、年四割に廻せば廿六年目に一百十二万圓となり、年五割に廻せば廿三年目に一百廿三万圓となるのであるから若しも百圓の金を以上の金利に廻す事が不可能でないさすると一代に一百万圓の資産家たり得る人は誰しも一代にして一百萬圓の資金を有して居り得るさ云ふ事になる、唯問題は果して二割三割若くは五割の金利に廻し得るか否かにあるが予は必らず以上の金利に廻し得るを信じ、且つ之れを實行しつゝある一人であるから、之れから順次、自己の實驗に基く金利運用法を說く事さしよう。

▼一日五厘儲ければ宜し 一百万圓さ云へば大金であるが、所謂、塵積つて山さなるの道理に洩れず、一百万圓の富を得んさするには先づ細かい勘定から出發せねばならない、此の僅かな金利の運用法が呑み込めた人丈けが巨万の富を作り得るのであつて、此の理窟此の計算の分らぬ人には到底金は出來ないのである、即ち其の利殖運用法の一端を茲に公けにするが、一百圓の資本で一日五厘五毛宛儲けて行けば、一百圓の元金は五十一年目に一百万圓となるのである、十圓の元金で毎日一錢一厘宛儲けて行けば十圓の元金は二十八年目に一百二十六万圓となるのである、十圓の元金で日に一錢三厘七毛宛儲けて行けば一百圓の元金は三十六年目に一百十二万圓となるのである、何と恐ろしいものではあるまい乎。

▼決して實行難に非ず 世人は生活の爲めには常に對資本利廻り十割以上の儲けをなして居るの實例に乏しくない、例へば茲に百圓位の資本を以て一つの營業を始め、其の營業に依つて一家四五人の家族が生活して行くさ云ふやうな實例はいくらもある、四五人の家族が生活するには、どんな片田舎でも一ケ月十圓内外の金が必要である、して見るさ一ケ年百圓以上の利益であつて即ち其の對資本利廻りは年十割以上であるが、故に、人は生活に迫はるゝが如き眞面目を以て、金利の運用法を考へるならば其の利殖は決して困難でないのである。

▼貧乏人續々奮起す 然るに、世の多くの人が、一代に富を作るの望みなし、さ悲觀して遂に自暴自棄に陷ゐるが如きは誠に歎ずべき次第である、予は多年此の利殖法を研究し、且つ實行し來つたのであるが、之れを公にするを欲せず唯、親戚知己の間にのみ說き、稀には失業者の境遇に陷りて助力を乞ふものに說き來つたに過ぎない、併し、予の此の計算法に勇氣を得て俄かに發奮努力するに至つた人も尠くなく、昨日、失望に泣きたる者も今日は光明あり希望に滿されたる生活に蘇生するやうな實例も尠くなかつたので、茲に予が年來苦心せる利殖法を公開するに至つた次第である。

▼貯蓄投資講義錄の發行 今や、我が帝國は歐洲戰役の名列強と伍して、如何なる政策を樹立し、其の國是を如何にす可きかに就て、最も愼重に考へねばならぬ時機に到達して來た、併し、其の國是と稱し立國策と云ふも要するに、先づ國力を充實するに在りと云ふ點に歸着すると思ふ、金が無くては國も強くはならない、即ち予は茲に深く決する所あり今回本社内に「貯蓄投資研究會」なるものを設け、「貯蓄投資講義錄」を發行し、人々をして貯蓄の實行をなさしむるのみならず、更に其の貯蓄したる資金をも確實に、有利に運用利殖して先づ人々をして五万圓なり、十万圓なりの基礎的財産を作らしめ、更に進んでは一百万圓の富をも成さしめんさ努力する次第である。

▼空論に非ず實際的 講義錄は極めて平易で誰にでも讀め、且つ一々實際の生活に充ててまゐるやうに出來て居る故如何なる職業の人でも本講義錄を讀めば直ちに實行が出來るやうになつて居る、貯金のないものがこれを讀めば直ちに貯金が出來るやうになる、今迄、銀行や郵便局に安い利息で預金をして居た人は直ちに其の利殖法を覺えて二割乃至五割さ云ふ高利に廻すことが出來るやうになる、而して安全に確實に成功することが出來るさ云ふ、恰も盲目を手引するやうに一々懇切に指導してゐるのが本講義錄の特色である。

▼會員には永久指導 單に講義錄が懇切に金儲けの道案内をする許りではない、一たび本會へ入會した人は社友として永久に本會との關係を持續し、本會に於て永久指導の任に當り、其の人が成功致富の目的を遂する迄、此の手で金か儲からなかつたら斯うする、それでも成功しなかつた際には斯く斯く、さ一々實際問題を捕へて其の指導を爲し、永く諸君が最良の顧問たらんさ期する次第である。

▼本社の確實なる事 本社は資本金二十萬圓拂込濟の株式會社である、而して本社の顧問として現に其の經營に參與して居る高柳淳之助氏は無一文から最近十年間に四十萬圓の富を作つた人で、余も亦最近二個年足らずの間に約十萬の富を作るに到つた、其他、本社の重役は何れも自己の努力に依り一代にして富を成したる人々である、以上の人々に依つて經營さるゝ本社發行の此講義錄が如何に實際的價値を有するものであるかは改めて云ふ迄もあるまい。

▼百圓の元金を得る法 以上述べ來つた所の致富の要道は主として百圓の資本金あるものを土臺として來たが諸君の中には百圓の元金を有せずして其の百圓を得るには如何にす可きかに惑ふ方もあるかも知れぬ、予も亦其の點に就ては特に意を用ゐ、講義錄に於て先づ百圓を得るには如何にす可きかに就て、自己の經驗を基礎とし誰れにでも容易に出來得る實行方法を詳細に述べて置いたのである、故に茲には之れを省略して置く。

▼今直ちに決心せよ 諸君の中には此の廣告を見て直ちに賛成する人もあらう、又種々なる疑ひを起す人もあらう、予は斯くの如く疑ふ人をも大いに歡迎するので、斯の如き人こそ予の大いに力を盡して說破せんさ望む人である、故に此廣告を見たる諸君は其何人たるを問はず、ハガキを以て東京市神田區一ツ橋通町八番地株式會社富强世界社へ宛「貯蓄投資研究會規則書送れ」と申込まる可し、内容明細に分る規則書を無代にて進呈す。

▲市税…九萬八千三百二十五圓…二萬五千九百六十圓五十錢五厘にして此の總額…數十年にして…二百四十三圓…三萬三千二百三圓なり
…に在りては前年末の穀價下落の影響を受け農家經濟潤澤ならず牛を放賣するもの多かりしと戰亂の爲め牛皮…對比し減少したる結果從つて屠殺數も減少したるものなりと

◎連絡船上陸客 十八日午前

一等客 米國人二名 一等(四名)安東千代吉、星野世喜… 二等十三名 永江義雄、荒木朝太、牧田好次、岩瀬良光、高芸一、喰有彦、馬塚幸、林督、河村武、藤原鎌太郎、藤原諒一郎、水沼林次郎、同後治 三等(百十名)

▲同廿一日 同廿三日 同廿四日 同廿五日 同廿六日
▲京城南山人至急住所御通知を乞ふ
▲成川の仙境
謹告 寄稿者には五十錢當以内に於て本欄に掲載す ▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係 何號と明記に限る

演藝案内

京城壽町 電話五七八番 壽座
◎連鎖劇來る 義士の家 男女合同一座三十餘名 連鎖は京城市内を背景になし野外實演を毎日撮影上場す 初日來二十二日開幕午後六時 毎日早朝より午後三時迄撮影

有樂館
東京小林商會新派一座 … 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(階上)五九七番(階下)三〇五番
▲日曜、祭日晝夜二回開館 ▲當る廿二日より封切▲特別大興行
…「相馬大作誠忠錄」…▲敎育社會劇「壽流」(原名紀)全五卷 …▲新派悲劇「女優」…

黄金館 電話二六三七 二六六六
九月十五日全部差替 …米國ユニヴアーサル會社…

大正館 櫻井町 電話八七三
▲新派悲劇「迷の夢」全四卷 …▲第三「レッドサークル」五六編四卷…▲新派連鎖悲劇…

京城本町 電話一〇五 壽館
▲大阪扇友會理事新講談神田伯治氏 ▲露探西鄕大尉 ▲早亭孝の湯 ▲壯士之鐵腕

公告 京城府
一、京城府隅崎町及龍山停車場入口溝渠改築工事 右來ル九月貳拾參日午前拾壹時入札ニ付ス

關西デ一番ヨク勉強シテ一番品揃ノヨイ
化粧品石鹸問屋ハコ、伊勢勘号
大阪東區南久寶寺町三丁目 電話南長二四一六 振替大阪二八二五番

醇良清酒
大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎
京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎(電話長二九番)

くだりとめ
清腸(セイチヨー) 新薬 錠形 オブラート添附
高貴藥配合 一服にてきゝめある
主治 ◎胃加答兒◎腹痛◎下痢◎急性腸加答兒◎其他食傷水傷等より起る一切の下痢病
(價十錢 二十錢 五十錢 壹圓)
本舗 大阪 高橋盛大堂
●各地到る處の藥店に販賣す

中風病
余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其の悲しき實驗より得たる良藥を郵券二錢添付照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書を無代進呈す
兵庫縣明石鍛冶屋町 加古忠兵衛

京城太平通二丁目七八
扇田皮膚病黴毒醫院
電話二二五八番

京城通信 九月十九日 … 潮汐 …

# 左甚五郎

第三十二席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

本所に蚊が無くなれば大晦日といふことを申しますが本性に我が無くなれば年の暮といふのださうですが、彼本所一ッ目の辨天堂の普請に就き廣梁の間違ひで建前にならぬを甚五郎の骨折にて建前を濟せ、お宮で馳走になり土産物まで持つて歸つて來た、三軒町の政右衛門の宅では心配をして居た 政『オー甚五郎歸つて來たが、何うも今日は御苦勞だつた 甚『何ういたしまして、デモまア宜い

塩梅に建前を濟せました 政『然うだとな、皆なお前のお影で助かつた、先刻藤藏が歸つて來ての話しだが、あの跡は何うするつもりだ 甚『困つてしまうな世話役が歸つて來て棟梁に話しをしたなら仕方が無ね、俺の考へでは棟梁に知らせねヱで密と引替てしまほふと思つて居たんだ、實はねお開きなすつたか知らねヱが廣梁の穴が五寸詰てしまつた 政『然うだとな其故藤藏も甚五郎さんが今日行つてくれなきやア命を捨ても追著かねヱ、甚五郎さんのお蔭で命拾ひをしたから是から自宅へ歸つて大神宮樣に御神酒でも上げお禮を申上げなきやアならねヱと周章て歸つて行つたが、あれは何ういふことにする 甚『然うでござんす、他の者は兎も角も廣梁だけは仕替へませう、俺が仕事にかゝります、何れ十六工かゝつたつて構やアしません、出來上れば頭達の手を掛けなくつても少し薄暮くなつた時分に家の小僧を二人ばかりに世話役と俺と棟梁とで彼木を引替てしまほふ、世話人や神主へ知らせる氣遣いは無いさア御安心なすつて下さい 政『甚五郎何分頼むぜ』茲で甚五郎が受合つて辨天樣の仕事にかゝりましたが、他のことは爲ない只廣梁だけを受合つて、最初に若梁に彫つた奴を甚五郎が二重若梁に直して十六工式つたといふものをば三日半で作へ上げてしまいました、大した腕前のもので、其の後棟梁と世話役と小僧を二人ばかり手傳はして人知れず此の廣梁を引替へてしまつた、何でも名前といふものは德なもので、甚五郎が仕事にかゝつたと云ふ處から一ッ目の辨天樣のお堂は甚五郎が建た、甚五郎が繪圖を引いたと評判をいたしたのですが、何にも甚五郎が繪圖を引いた譯でもなく建た譯でも無い、只廣梁ばかり甚五郎が作へただけのことでありますが然しながら此の廣梁も辨天樣が度々燒けて居りますから只今では殘つて居りません、其の當時は甚五郎が建てたといふので大した評判でございます『然ういふ譯だから棟梁始め弟子共は甚五郎を敬いまする、スルと其の後のことでございましたが、三代將軍家光公が上野東叡山寛永寺の鐘樓堂を御建立に相成りました、が高欄の四方へ龍の昇天する形を取付い且此は龍の名人に申付け彫らせいと云ふ上樣よりのお好み、然し上意風の如し將軍家のお勢ひで調べると直に大阪に一人の名人が居ると云ふことが判つた、其者は道頓堀の棟梁吉兵衛といふ者、今一人は野州佐野の天明に居つた仁兵衛といふ者、此者等は皆龍の彫刻の名人といふ評判、それから神田の宮本町に亂心の宮三郎といふ者、亂心と云つても氣狂いではございません、仕事にかゝると熱心になつてしまい他人に呼ばれても返事もしない、何だか自分の勝手な仕事で氣中になつてしまふ、人の云ふことなぞは耳にも入れない、施然彼は氣狂いだといふので人が呼んで宮本町の亂心宮三郎と云ふ、それより諸所を探ねたが何うしても三人しか無い、半端數で困る、二人なら四方へ取付けるのを二ヶ所宛彫らせるといふことがあるが、三人では揃數になつてしまつて仕樣が無い、作事奉行、青山遠江守も途方にくれました、

京城府櫻井町二ノ三二(元賀梁骨社跡)
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二二〇二番

リウマチス及神經痛にて御困りの方は一度御越しなさい不思議によく治りますから
京城本町五丁目電車停留所前 京城健全哲學館療院

九月廿一日 九星
舊八月六日 丙寅
本命 四綠 翼 取 先勝

△四綠● 慾にならぬ事有り新事見合北方は吉 ▲五黄● あとさき見ずの事有り注意新事 △六白● 平穏の日なれ共手控る事 ▲七赤● ごも新事控目の方吉 旅行見合 △八白● 仕事は吉女子は凶 ▲九紫● 争ひを防がるべし ▲一白● 調子よき日 ▲二黒● 求職 金融 婚姻 請求 ▲三碧● 人に頼み事は吉 旅行は凶

産婆並に看護婦生徒募集
入學十月ト四月 規定書郵券二錢
長崎市私立長崎産婆學校

強いで安い
タイヤ 壹本壹圓九十錢
チューブ 同 八十五錢
耐力五千哩以上保險附
其の他上中下種々有之候 カタログ御請次第進呈
大阪市西區北堀江御池通六丁目二七
大阪ゴム製造所
電話西一九二四番 振替大阪二七〇〇五番
26 28 吋の二種あり 小包送料實費申受

子宮病血の道とリウマチスに悩む人は
彼是と迷ふ無く
最も能く効く良藥神仙湯を試みよ、現に百方手を盡すも効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、數年難治の子宮病を始め固疾の痼氣リウマチス神經痛の方々が神仙湯の一服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し感謝の餘り懇篤なる狀(現在保存一般の閲覽に供す)を送らるゝ例も少からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば試に御服用あれ
本劑は子宮病 血の道 ヒステリー リウマチス 神經痛 等に能く効を奏す
こんな徴候に 肩、腕、手、足、腰の痛み 頭痛 眩暈 耳鳴 逆上 胸のつかへ 食慾不進 便秘 腹痛 手足の冷え 氣鬱 不眠 月經不順 子宮病 血の道 リウマチス 神經痛 に神仙湯を試みよ
定價 十日分 五十錢 半月分 七十五錢 一ヶ月分 一圓四十錢
名古屋市東區京町二丁目
本舗 荒川長太郎
電話長千百廿七番 振替口座大阪二三九五番

りん病 ばい毒
不老は强烈力強大にして劇藥を用ひず治療の目的を達す
一周分 淋病 普通 金壹圓二十錢 特製 金貳圓 / 梅毒 普通 金壹圓 特製 金貳圓五拾錢
京城永樂町二丁目交番北 京東ドラッグ商會 本舗
月やく なきにお困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黄金町三丁目 川田しづゑ

正式のお化粧の仕方

東京でも、大阪でも、良家の奥樣やお孃樣のお化粧といへば、大抵次の方法にきまつて居ります。即ち先づ……

(第一に) 普通石鹸よりも牛乳よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顔を洗ふ。

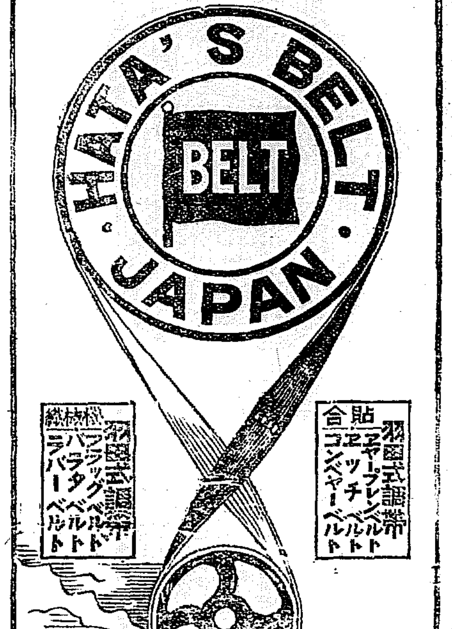
(第二に) 皮膚の美を養ふ……お化粧下 クラブ美身ゼリー を掌から顔へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームを代りに用ひ、能く擦り込んでから蒸タオルで拭き取る。

(第三に) 一番高尚で美しい艶の出るクラブ白粉を掌に取り、指先で能く煉つて附け、(襟は顔より少し濃く)、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で均らし、溫タオルで押へて白粉を落付かせる。

(第四に) お顔にホンノリ櫻色の健康色を與ふるクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷きつける。

(第五に) お化粧を引立てるクラブ粉白粉をセーム皮につけて顔に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム皮で軽く打ちます。高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上ります。

お化粧の順序
クラブ洗粉
クラブゼリー
クラブ白粉
牡丹刷毛
水刷毛
溫タオル
クラブ頬紅
クラブ粉白粉
美人




大阪市西區北堀通一丁目
羽田調帶製造所大阪支店
電話土佐堀六七三番 六七四番
振替大阪二九八八番
代理店 京城南大門外
白神洋行京城支店
電話局二五一七(略シ一)
振替京城九二七番

京城日報　第三版
九月二十日（夕刊と合せて八頁）

東京株式 [illegible]　大阪株式 [illegible]　大阪三品特電 [illegible]　仁川期米 [illegible]

# 座右銘

## 釋宗演（通俗講演會に於ける講演）

座右銘
一、早起未更衣靜坐一炷香禮神佛
一、[illegible]時食不至飽
一、對客如獨處獨處如對客
一、常不苟言言則必行
一、臨機勿讓事再思
一、勿妄想過去遠慮將來
一、負丈夫之氣抱小兒之心
一、就寢如蓋棺醒如脫履

（四）

人より先立つて眼を覺したなら、蒲團の上で寢衣の儘靜坐一炷香をする。一炷香と云ふは食事前後の文章から使つた丈で別に線香焚かいでも宜い。要に角靜坐する、所が此頭は靜坐に色々な式が出來て、世間では大分流行し、多くの人が大なり小なり靜坐を行つて居るが、結構な事である。併し此靜坐と云ふものを單に物質的の利益を得んが爲めに行つて居る向もある樣に思はれる。或は不老不死の元氣を得て人間の有ゆる快樂を恣にしやう抔云ふ目的で行つて居る者も大分あるかも知れない。靜坐する結果自然に身體が壯健にな[illegible]がある以上は、其の一面に古い書物を見てもどうも動坐と云ふ事は見當らない。けれども靜坐が有る以上は動坐と云ふても敢て差支あるまいと思ふ。人を避けて靜かに坐るも宜い事に遠ひないが、半面に於て動坐と云ふ事を忘れては成らぬ。古人も『動中の工夫は靜中の工夫に優ること百千萬倍なり』と申して居る。其れでありますから、今日は靜坐と云ふよりは寧ろ動坐を稱した方が宜いかも知れない。山寺に隱れて靜かに工夫に專念するよりも此の活社會の眞ン中で修養工夫する方が效果が遙かに優れて居るのでありますが、誰に向つても之を求めるのは或は多少無理かも知れんから、先づ最初は靜坐の工夫から追々と動坐に到るが順序でありませう。併し追に深い所に進むと、靜坐でも動坐でも孰れでも宜しい。即ち『一切萬境に對して心を動かさざる之れを坐と謂ふ』で、四圍の境遇に我が心を動かさざるに至りて坐ると云ふ目的が達せられたものである。不平、煩悶、懊惱あるも畢竟は坐るは坐つても眞の坐ではない。[illegible]つて居ると『自己』と云ふものが現はれ來つて、何等かの光を發して來る。平常の態、何等かの光を發して來る。此の光は生は此の態は耳に入らぬ。此の光は眼に見られぬ。けれども其れが本來なんである。恰も太陽は常に赫々の光を放つて居るけれども、手を以て眼を覆へば、其の光を見る事が出來ない。深々たる妙音を發する琴と雖も、耳を覆へば、其の妙音も我が耳には入らない。所が靜坐すると、今迄は外界の影響を受けて居たのから超越して、今度は四圍の現はれは恰も我が心の影法師の樣に考へられて來る。我だの彼だの云ふ差別が無くなり、更に進んで宇宙と我とは一緒になつて了ふ。神や佛と同じものが我が心に現はれて來るから名前は權兵衛でも八兵衛でも構はない。實に偉いものが、我が肚裡に在るんである。此所が[illegible]他の宗の說く所と我が宗の[illegible]であります。が、我が心の奥を見るには、敢て專門に公案抔を考へるまでもなく、靜かに坐するに從つて、今迄は遠きに之を求めて居たものが、直ぐ我が足許に在つた事に氣附くであらう。其の時は恰も天地創造の時代の樣に、何か知らんぱつと明るく成つた氣が爲るであらうと思ふ。そこで衲は、平生早起未だ衣を更へざるに靜坐一炷香せよと云ふ事を座右の銘の第一條として居る譯であります。次は飯にして衣帶を着けなば必ず神佛に禮せよ。衲共は朕でも應でも之をやるのが習慣になつて居ります。が、諸君は如何でありますか。著物を着て仕事に手を下さぬ先きに、自分の親に對してお早うと挨拶する如く、自分の祖先に向ひ、更に遡つて神佛に對して感謝の念を捧げる人がどれ位あるでありませう。衲は日露戰爭の當時、從軍して彼方此方慰問して歩きましたが、兵士の中には朝起きると敬虔なる態度で太陽を拜んで居る者を見たが、若い將校などは之を見て、太陽も地球も同じものである。何んだつて太陽抔を拜むかと云ふ樣なことでありましたが、さう云ふ淺薄な眼を以て見ては、不可ない。此の眞面目なる精神があればこそ、敵國に比べて物質的に於て、數字的に於て比較にならぬ[illegible]にも拘らず、彼の樣な戰捷を見るに至つたのである。素より此の他にも色々原因がありましたらうが、吾々日本人には斯かる美なる感情がある。此の美なる感情があるから太陽を拜む許りでなく、或は山にも己が心を捧げる。之を一知半解の相對的智識で衝突し去ると云ふのは甚だ不可ない。斯の如く敬虔熱烈なる信仰心あるからして死んだ山をも活かさずには置かない。此の[illegible]加に渡る船中で[illegible]向ふに行く日本の勞働者……風態は除り感心しませんが、毎日朝起きると太陽を拜む。衲之れを見て大變嬉しいと思つた。少し學問でも有る日本人は、其れを見て馬鹿な眞似を爲して居る。西洋人に見られたら恥かしいやないか抔申しますが、假令西洋人が笑はうが、天笑人が笑はうが、笑ふ者には勝手に笑けして置くがよい。外形の問題なんである。或は其の形に於ては彼等はもつと文明的に成らねばならぬかも知れんが、精神の置所は此所になくちやならん。先帝陛下の御製にも

目に見えぬ神の心に通ふこそ
人の心の誠なりけれ

と仰せられてありますが、實に百姓の敎訓にも優るのであります。我々は常に此の心を助長し、向上せしめて行かなくてはならぬ。國の成立の原因は此の心であります。此の心の盛んなる國は榮ゆ。然らざる國は衰へるのである。

# 兼二浦の製鐵所

三菱製鐵所長　堀悌三郎氏談

△工事と機械　現在兼二浦に建設しつゝある三菱製鐵所は資本總額二千萬圓にして昨年四月工事に着手し既に事務所、工場、社宅の大部分は竣工し只同工場に据附くべき器械の到著を待ちつゝあり該器械は同所計畫と同時に米國及び英國の製造會社とインスペクターを爲し本年早々に全部到著すべき筈なりしに其後歐洲戰爭の影響を受け何れの製造所も軍需品の製作を爲すべく主力を傾注したると例の船腹不足の爲め漸次延引し英國へ註文せし分は既に到著したるも主要部の器械は米國に註文せし爲め今日に至るも未だ到著せず然し之れも近々の中積出すべく其運びになり居れり

△事業開始期　最初の計畫は本年内に事業開始の筈なりしに斯の如く條件なき故障の器械到著の遲延したる其間に於て總ての物價は暴騰し騷擾を生じたるの現狀なれば豫定の資本額にては多少の不足を釀す可きやも計られずと氣遣ひ居れり兎も角本年内に總ての設備を完了し來年一月より事業開始を期し居れるも到底期日中には覺束なかるべく二月には是非共開始の整備にて機械の到著を促し居れり以上の計畫なりしが以て現に役員百餘名は同地に着し夫々相當の職務に就き準備を爲さしめつゝあり同製鐵所事業開始の曉に使役する職工其他の人員は内地人一千五百名、鮮人五千名にしてこれ等職工に對しての宿舍娛樂場の設備も可成彼等の滿足を得るやう専ら注意を加へ設備を爲さしめ居れり

△計畫の概要　同製鐵所の事業計畫は原鑛は黃海道銀山面、兼二浦、上道面、晉村面等三菱鑛山部の所有鑛區よりの産出を原鑛とし一箇年の銑鐵額十萬噸を製すべく而して其半額五萬噸を以て製鋼とし其鋼鐵は三菱造船所の造船材料に供給し銑鐵は一般市場に賣出すべき計畫なるも將來時運の進展に伴ひて工場の擴張を行ひ得ば鋼鐵を爲し夫れ以上の製鐵を行なふ積なり事業開始を來年二月と爲すも同年の八九月頃には鋼鐵の製出を見るに至るべし同製鐵所産出の鋼鐵を兵器製造用に供給することは現在の製鐵法にては多量に含有する燐を除去すること能はざる爲め不可能なるべく當分は主として造船材料に供給するを主眼と爲し居れり

△西鮮の鑛山　同工場に消費する燃料石炭は三菱會社にて既に支那撫順平壤炭鑛會社に有利なる供給契約を爲し居れるを以て主として開平炭を漸路兼二浦に輸入し使用すべく萬一不足の場合には九州に於ける三菱所有の炭山より輸送せしむることゝなし居れば燃料に對しては更らに窮るところなし現在三菱の所有に係る黃海道方面に於ける原鑛産出額は同製鐵所の現在規模を以てすれば十年二十年は優に採掘し得べし由來西鮮の鑛脈は數に於ては甚だ多しと雖も何れも小鑛區のみにて北鮮即ち咸鏡道方面に比しては語るに足らず北鮮の鑛脈は何れも廣大なれば將來或は同方面より鑛石の供給を仰がざる可からざるやも計り難し（登山）

# 咸北森林縱斷（一）

鏡城　山崎眞雄

咸北の森林を見ない者は未だ以て咸北を語るべき資格がないのである[illegible]咸北の天地を知らうと思へば[illegible]此の地方を踏破する必要がある此の森林地帶と云ふのは吉州郡を流るゝ南大川の上流と西頭水との分水界を爲して[illegible]

△八月一日 [illegible]

# 誰（72）

布施生譯

やつと美保女の話の香込めた利介は歸宅の途次つくづく思案した、兒め飛んだ秘密を殘して逝きやがつた、聞けば兒と約束した數姫は其後銀行家の保部とか云ふ富豪に縁付いて樂々と暮してゐると云ふ、一つ兒の遺子と云ふのを探出してうまく其奴を利用すればそれで又面白い一狂言書けると云ふものだが、しかし待てよ兒の遺子をそんな事に利用するのは餘り罪な話かな、いや、可いや、折角天から授けてくれた金の蔓だ、構ふもんか遣付けろ。そう決心して利介は其晩直に支度を整へて倫敦へ發つた。

◇　◆　◇　◆　◇　◆　◇

數姫が安部家へ嫁いでから今年で二十三年になる、二十三年の間數姫は此上もなく幸福に過した、昔の過を思出せば兎も角、それさへ思はねば夫には愛があり家には金があり家庭は羨ましい程暖かなものであつた此永い間にたつた一つ姫が涙を流したのは此家に嫁いでから四年目の冬、母夫人に死別れた事であつた、母は姫を保部に嫁けたのが大自慢で毎時自分の鑑定の利いたのを誇り、死ぬ時も其自慢をして『それ御覽、何でも母樣の言ふ通りにしてさへゐれば此通りだ、賴太郎の事なども此後とても乾度氣をつけて氣取られるやうな事をするのではありませんよ。』と誡めた、數姫は齡はとつても夫の愛は衰へなかつた、時偶夫や息子が留守になる事はあつても手許には未だ夫の姪に當る孤兒で子供の時から手許に引取つて自分の子のやうに育てゝゐる栞と云ふ娘が居た、さう云ふ家族に取圍まれて數姫はこれまで一度も淋しい思も厭な思もした事は無かつた。

數姫は日に日に今の境遇に滿足していつた、そして昔の事は夢か何かのやうに朧ろに心の底に殘る位になつてしまつた、さう云ふ平和な境遇が或日不意の事から無慘に破れた或時夫が何か大切な用向で田舍へ旅立つた跡のことである、郵便が一通、姫、いやもう今は若々しい姫ではない、中年の保部夫人の手に屆いた、何氣なく封を切つてみると

前略明日午後二時より三時迄の間に必ず御意得度、御許し下され度候、委細は其節申上可候、草々

何の事かと思ひながら、名前を見ると、おや、夫人は胸がどきんとした、藏部侯爵よりと書いてあるではないか、餘りの思懸なさに夫人は二度も三度も否十度餘りも其手紙を讀返した、或時は夢ではないかと疑つて小さな聲で音讀までして物狂はしく藏部藏部と繰返した、暫時すると騷いだ心も靜まつて、夫人は『藏部と仰せられるからは能度數敏樣に相違ない、あの方なら、今お會ひ申したとて何も心配する事はあるまい、數敏樣ならよく事情をお話し申上げて今の身の上をも包まずお話申し、そしてあの時お預かり申した遺品の小筐をお返却申上げればよい、仔細さへ分ればあの方なら何もさうお怒り遊ばす事もあるまいから。』夫人はさう言つて吾と吾が不安心を打消してゐた。

# 雜誌抄

◆米飯の沿革（柔道）　奈良朝時代までの日本人が食つた飯は、玄米の儘にか炙り又は蒸して作つた糯飯で、朝夕二度が正式であつた。鎌倉時代になると、[illegible]代用樣だが、度數は朝夕晝と三度になつたらしい。精白で結末を炊くのが、普通となつたは、室町時代以後である。

△依然強硬 [illegible]

△仁川現物界 [illegible]

十九日の十一月限 [illegible]

健康となる金科玉條は
美味滋養
蜂印香竄葡萄酒を
毎食前飲用するにあり
さすれば　血を增し　肉を肥し
知らず識らず健康體となる

金二十銀四賞牌

蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒に滋養分を加へし補血強壯の主成分として精製せる純良品なり

會長　東京帝國大學文科大學教授正四位勳三等文學博士　服部宇之吉　講師　林博士岡田教授宇野教授井村教授其他數十大家

大日本漢文學會

本會は漢文學研究と國民精神の涵養の爲漢文講義錄を發行す[illegible]何人もよく斯學の堂に入るべし會長及講師諸先生は每號有益なる講義を執筆せらる

速に會則（申込次第無代進呈）を見よ

●第九回新學期開講　此際入會者に限り諸種の特典あり

東京市小石川區西丸町　大日本漢文學會（電話小石川三八〇番）

パイン萬年筆

驛社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比眞に理想的なる大日本政府登錄　米國製　十四金『イリジユーム』付ペン（責任保險付）

完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕

京城旭町二の六　東京パイン萬年筆出張所

定價 [illegible]

發賣元　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

東京ウツボヤ書店

敷島。武藏野

空袋引換

◎何れも二十枚御持參の御方には煙草一包と景品券一枚呈上

期限（十月十日まで）
京城及び仁川市內に限る

景品種類

| | | |
|---|---|---|
| ◆壹等 | 金紗高貴織又は女持十八金羽織紐（三越製） | 一本 |
| ◆貳等 | 旅行用具又は純銀金具付帶止（三越製） | 二本 |
| ◆參等 | 手提又は半衿 | 十本 |
| ◆四等 | 懷中鏡又は女持買入 | 五十本 |
| ◆五等 | 敷島一包 | 二百三十七本 |
| 等外 | 武藏野一包 | 七百本 |
| 合計 | | 千本 |

◇東亞煙草株式會社◇

# ○林公使外交部へ警告

錦州、輯安兩事件に關し

林公使は十八日外交部に對し錦州事件に就きて警告を與へ猶は輯安縣事件の交渉に就き支那政府の回答を督促する所ありたり（北京特電）

（附記）錦州事件とは去る十四日錦州に於て同地在留の邦人宮原識外二名が街路を通行中多數の支那騎兵及び巡警より銃撃せられ終に宮原は即死し他の二名負傷せし事件なり

## 露國内の紛騷

### ▲勞兵會の宣言

安協的政治を革め＝政權を平農民に與へよ

勞兵會は宣言書を發して曰く、露都勞兵會は立憲民主黨を始めとし臨時政府に大臣を出だせる黨派及び團體の陰謀に基くコルニロフ將軍の反革命的暴動に鑑み公然暴動に加擔せる立憲民主黨及び其他の反革命主義者を政權より遠くるのみならず安協的無責任の政治を根柢より革むるを必要と認む蓋し斯くの如き政治は軍司令官及び國家の機關を革命反對の中心とし且つ其の武器たらしむるを以てなり、臨時政府の擅權と無責任とは最早忍び得る所に非ず、斷じて平民及び農民代表者をして政權を掌握せしめ左の政綱を實行せしめざるべからず

一、民主的共和制を宣言せしむること

二、買上に依らずして速かに土地所有權を廢止し憲法會議にて決定するまで是を農民會の手に移すこと、貧困なる農民を保障すること

三、生產分配を勞働者の司配に歸せしめ石油、石炭金屬其の他重要工業を公有とす大資本及財產に充分課稅し戰時收益の沒收を行ひ經濟的破滅より國家を救ふこと

四、秘密條約の無効を宣言し速かに各交戰國に一般民主的平和を提議すること、而して猶ほ緊急政策として實施すべきもの左の如し

（一）露國同階級及び其の團體に對する各種の抑壓を廢すること、速かに戰線に於ける死刑を廢し軍隊內の各種の運動及び民主機關の組織を自由ならしむること、軍隊より反革命主義の士官を驅逐すること（二）地方機關をしてコンミッサーを選擧せしむること（二）國內の民族に自治權を與ふること、先づ芬蘭及びウクライナの要求に滿足を與ふること（二）上下兩院を解散し速かに憲法議會を召集すること（二）貴族其他各種の階級及び特權を廢し人民をして全然均等の權利を享有せしむること

# 觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○露國の革命を目して、自由の曙光と絶叫したる、聯合國側の論客も、今は漸く其の見當違なるとを、悔覺したるが如し。蓋し露國の現狀は、自由にあらず、無法也、無秩序也、無政府也。露都の如きは、全く修羅の巷とも云ふ可き也。我が應仁の亂に於ける京都の狀態も、恐らくは此程迄には淺間敷からざりしならむ。

○予は此に就ても、端なく希臘史家ツキヂデスの、雅典と、斯伯拉多との交鬪史中に於ける、雅典市厄病流行の記事を想起するを、禁ずる能はず。

○疫病は、敵軍と與に雅典を襲へり。如何なる強健なる者も、之に罹れば、乍ち死す。而して其の感染するや、火の原を燎くが如し。死屍累々として、街頭、神殿に堆を成せり。而して患者何れも、躁渇禁ずる能はざるが故に、特に井側、水邊に多し。

○此が爲めに雅典全市は、頓に無政府の狀態に陷れり。彼等は明日をも知られぬ生命と思ひ、其の病に罹らぬ者迄も、自暴自棄に陷れり。此が爲め人間一切の名教、節操の觀念を失墜し、神も、法も眼中に措かず、唯だ我が眼前の爛醉を逞うせり。

○記者はツー氏の熱心、駿驍の大文章の萬一をも、此處に移譯せしむる能はざるを遺憾とする也。但だ雅典には、斯る場合に、尙ほペリクレスの如き大政治家あり、克く人心を收攬し、之を反正せしむるに勗めたり。然も露國の今日は、纔かに一個のケレンスキーを見るのみ。而して彼は果してペリクレスの如く、克く群衆の怒を冒して、之を善導するの大識度、大才能を有する乎、否乎。

# ○支那の紙幣下落防止

[illegible]

# 玉麟蒙軍に投ず

[illegible]

### ▲共和制宣言歡迎さる

ケレンスキー氏の大成功

共和制宣言は露都、莫斯科を通じて各黨派より盛んに歡迎せられつゝあり共和制の宣言はケレンスキー氏の一大成功なりと認めらる、猶ほケレンスキー氏は外相テレスチェンコ氏をして聯合國大公使を訪問せしめ戰爭の繼續を宣言せしめたり（露都電報）

### ▲ケ氏の內閣組織方針

ケレンスキー氏は秩序維持、戰鬪力恢復せらるゝ迄內閣を組織せず執政官をして國政を執らしめ內閣は後日各方面の勢力を網羅して組織することに決せり（露都電報）

### ▲露國更に紛亂を重ねん

コ將軍は時局の產める傀儡

立憲民主黨は政府側たることを宣言し莫斯科市會亦た政府援助決議をなし政局靜定せる如きも今次の紛亂は一方社會民主黨と從來壓迫されゐたる他の分子及び往時の勢力を恢復せんとする市政派と中產階級との混亂せる反目の爭ひありコルニロフ將軍の如き時局の要求によりて出現せる一個の傀儡に過ぎず結局更に紛亂に紛亂を重ぬべく觀察せらる（露都電報）

### ▲リガ露軍前衛前進す

露國公報に據ればリガの露軍前衛は敵に抵抗して或る部分に於て漸く前進を開始したりと（倫敦電報）

### ▲波蘭王國統治の形式

獨墺皇帝は波蘭王國統治形式に關する勅書を獨墺兩總督に下し兩總督は十二日五箇條の政令を發表したり其の要點左の如し

一、波蘭王國は王又は攝政の定まるまで攝政會議を設けて統治權を行はしむ

一、攝政會議は國會の協贊を經て立法權を行ふ

一、攝政會議は占領兩國の任命する三人を以て之を組織す

一、波蘭官憲の是認せる一切の事項に就ては占領兩國の同意を要す

一、總督は法律に代る命令を軍事上の利益保護の爲に發することを得

# ○米國禁輸命令發布

軍用品は此限に非らず

國輸出局は供給品を保存するため事實軍用品に用せらるゝに非ざる限り、小麥、麥粉、砂糖、バ[illegible]花、鐵、鋼鐵其他種々の化學製造品輸出を全するの命令を發布したり（紐育電報）

# ○大連航路値上

[illegible]

# ○戴天仇氏歸國

[illegible]十七日上海に歸[illegible]

貨は十億四百萬圓に達せり（北京特電）

# ○羅佩金氏免職

[illegible]

# ○コスタリカ國對獨斷交

在留獨人全部抑留か

中部亞米利加のコスタリカ共和國は獨逸との國交を斷絶せり、コスタリカ大統領は在留獨逸人中反政府の陰謀あるを發見して其の數名を逮捕したり在留獨逸人全部抑留せらるべしと（倫敦電報）

## ○瑞典邦人優遇

旅券査證廢止

瑞典駐紮特命全權公使內田定槌氏よりの報告に據れば九月一日以來瑞典に入港する外國人は其入國の目的を記載し且つ旅券發給地の瑞典公使又は領事の査證ある旅券を攜帶するを要する取扱ひなりし所瑞典官憲の査證は日本人の攜帶する旅券には要せざることゝなれり（東京特電）

## ○建部博士渡歐

東京帝國大學文科大學教授文學博士建部遯吾氏は學術上に關する取調の爲め滿洲へ出張を命ぜられたり（東京特電）

## ○國澤氏下關發

國澤滿鐵理事長十九日朝下關著同夜發關釜連絡船にて朝鮮經由歸任の途に就く（門司特電）

## ○駐支英公使

旅程

支那駐剳英國公使ジョルダン氏は旅程を變更し二十二日東京發歸任のことに決定せり（東京特電）

## ○滿鮮行滯貨甚し

大阪荷扱所の滯貨中滿鮮行き貨物は殊に甚だしく到底手の付けられざる有樣にて去る十四日より十八日まで一旦受付を停止し十九日漸く受付を開始したるも一齊其の混雜甚だしく此の分にては又復受付の停止を見るやも計られざる如き形勢なり（大阪特電）

## ◉京畿煙草輸出高

各月京畿道管內に於ける煙草輸移出高を聞くに口付千七百十八萬一千五百本價格五萬五千三百六十四圓卅五錢兩切千零十七萬千五百十本價格二萬二千四百十八圓四十錢合計二千七百七十五萬三千十本價格七萬七千七百八十二圓六十五錢なりと

## ◉通路檢稅成績

京城府稅務課にては去る十二日より十七日迄の間に於て自轉車其他一般車輛に就き通路檢稅を執行し脫稅者を皆無ならしめん事に努力せし結果荷積車人力車荷馬車自轉車の所有者にして新規屆出のもの二百三十八件屆出濟檢印未濟の分押捺件數百八十九再檢印再下附件數七十合計四百九十七件を擧げたり右の內

▲新規屆出荷積車百十四件人力車四十三件荷馬車四件自轉車七十七件

▲屆出濟檢印未濟の分押捺荷積車百十一件人力車七十八件荷馬車自轉車該當件無し

▲再檢印下附荷積車十九件人力車一件荷馬車二件自轉車四十八件

にして即ち無屆のもの、屆出のみにて未だ檢印の押捺を受けざるもの、及び再檢印、再下附せるもの、合計荷積車に於て二百四十四件人力車に於て百二十二件荷馬車六件自轉車百廿五件を算せるが尙諸車輛の所有者中には單に其の屆出を了せば檢印押捺を受くる必要なきものゝ如く思惟し大會社にして往々檢擧せらるゝ向あり此は單に屆出のみに止まらず先般府條例の改正に伴ひ取締上是非檢印の押捺を受けざるべからざる事と成り居れば無檢印のものは從つて處罰を免れざる事となるものなりと府當局は一般の注意を望み居れり

## ◉大正水利竣工式

百數十萬圓を投じ平北鴨綠江岸に施工中の不二興業會社經營大正水利組合は目下工事の大部分を終了せしに付九月下旬通水を行なひ十月中旬若くは下旬盛大なる竣工式を擧行すべしと

## ◉滿鐵披露宴

南滿洲鐵道株式會社理事長國澤新兵衛氏は今回鮮滿鐵道統一披露の爲め二十日午後七時より釜山の官民數十名を鳴戶本店に招待し宴會を開催する筈（釜山）

### 人事消息

▲大枝鉄福氏（元總督府醫院庶務課長）廿日午前八時三十分南大門驛發東上の筈

▲橋本豊太郎氏（木浦府尹）十九日夜元山より入京山本（二十日朝出發赴任の筈

▲ヘフトリー氏（濟州駐劄英國領事）十九日夜入京朝鮮ホテルへ

▲塚本遊兵中監　十九日退京釜山へ

▲木間德治氏（東京畫家）十九日夜入京巴城館へ投宿

## ○紅鬚匪出現勢ひ猖獗

洮南附近に紅鬚匪現はれ勢ひ猖獗にして其の被害範圍は吉林省の境界に及びたるが二十九師團長吳中將は之れを討伐せんとせしに匪徒は蒙匪と合し大擧各縣を陷れ其の勢ひ當るべからず匪徒の總數約七八千人となれり、吳中將は速かに之を討伐せんことを段總理に電請せり（北京特電）

## ○蒙匪軍の暗中飛躍

蒙匪討伐に赴ける張敬堯氏は到底獨力にて剿滅し能はざる爲め山東の督軍張懷芝氏に援助を請ひたり蒙匪は密使を四方に派して各地の陸軍を煽動し暴動を起さしめんと努力せり濟南にて捕へたる蒙匪の密使は陸兵買收費三千元を所持し居たりと（天津特電）

## ○各省の匪賊蒙匪に通ず

山東、直隸、河南附近の匪賊は益々其の勢力を擴大して蒙匪に通じ蒙匪の頭目は是等匪賊の各頭目を會して協議を開きたるに集るもの頭目のみ二百名に及び匪賊の氣勢侮るべからざるものあり（濟南特電）

## 百聞百種

昨日はケレンスキー首相の人望を御紹介申したから今日はコルニロフ將軍の人望振りを御紹介申さう▲張勳と云へば段祺瑞君を思ふ樣に此の兩人は何うしても切り放す譯には行かぬ▲扨てコルニロフ將軍の人望も却々大したもので露軍に捕虜になつた獨兵でもコルニロフ將軍は人間ではないと迄其武者振りを激賞して居るから略ぼ其の全般も窺へやう▲露國の軍人仲間では將軍を國民的英雄として認めて居る▲將軍を陛下等には何んでも彼でも將軍でなければ承知が出來ぬと云ふ熱心な崇拜者もある▲其等の連中は決心を示す爲めに各自左腕にコルニロフツイと書いた大きな腕章をつけて決死隊を組織して居る▲而して其の腕章にはコルニロフの指揮下で仆れるのなら身命は厭はぬとの意味で▲人間の頭蓋骨と十字に組合せた二本の劍と擲彈とが縫ひ込んである▲此の決死隊が今夏プルゼサミの戰鬪の際などは▲敵を粉碎して敵地に三十露里も攻め入つて堅城ハリツを占領し▲勇名を世界に鳴らしたので入隊志願者は續々現はれて來た▲ケレンスキー首相が戰線を巡視した際▲司令官たるコルニロフ將軍は▲自分の軍隊は何れも革命政府に信賴し祖國の爲に奮鬪して居る▲だから此の內には一人の叛逆者も居ない事を勸言すると云つて首相と堅き握手を交換して別れた▲處が今や將軍は叛逆罪として一命も危ないと云ふ有樣首相將軍兩々當時を懷ひ來ると▲胸中感慨無量であらう

□重要電報　欄外に在り

# ○湖南財政長免職

湖南の財政廳長袁家普氏は病氣の故を以て罷免せられたり其の後任に[illegible]

[illegible]るのみにて大事に至らざりしも一時は大騷ぎなりし（京都特電）

## ◉鮮銀券發行週報

九月九日より十五日に至る銀行券總發行平均[illegible]

准名人關根金次郎師初陣の快著
將棋勝敗 此の一手　金六十錢 送料四錢
此一手は著者多年苦心の末案出されたる勝敗極秘の一手を親切平易に説述せる將棋界稀有の新著なれば何人も此秘策を味へば每戰必勝疑なし
京城 大阪屋號 振替二五七三 電話六四八・二〇六

陸地測量部發行五万分一 朝鮮地圖
既刊五百六十枚一枚七錢五厘臨時土地調査局測量の分二色刷既刊二百三十六枚一枚十錢送料五枚迄二錢一切前金のこと照會必ず返信料を要す
電話五二〇 振替五一〇
龍山漢江通六番地 小林又七朝鮮出張店

朝鮮關係 圖書特價發賣
圖書特價目錄進呈（申込は往復はがき）
特價區域朝鮮全道（內地には特價なし）
特價期間 自大正六年九月五日 至大正六年十月廿四日 五十日間
東京市神田區仲猿樂町 振替東京六五五六番 巖松堂書店
朝鮮京城本町二丁目 振替京城二四五四番 巖松堂京城店
朝鮮仁川宮町 電話九〇四番 巖松堂仁川店

十月號 學校でも大評判 家庭でも大歡迎
少年世界
一旦死んで生き返つた男（實話）ロバート・ジェームス…渡邊北海
島の寶（長篇お伽）…巖谷小波
少年の悲哀（小說物別）…小川未明
聯合軍各國みやげ話…水野海軍中佐
△片眼の英雄伊達政宗…小山鼎次
△飛行機の作り方…江見水蔭
△怪艇？海獸？…一戶博士
△見ねぬ空氣を見る法
價十三錢郵稅一錢半

少女世界
ロシヤ少女の見た日本の着物と食物…鹿子木練子
姬の小舟（お伽小說）…巖谷小波
外入境の黃金窟（冒險小說）…四條英子
△乳屋の娘…（教育小說）沼田笠峰
△三番目のお客樣…猪野歌子
△黃金の魚
△濡れぬ姬…（滑稽寓話）
先生に叱られたこと…四少女筆
價十三錢郵稅一錢
東京本町 博文館 振替東京二〇番

京城本町一丁目（江戶川橫） 岡本歯科医院

★ 資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目
電話長五八番 振替貯金京城一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

……使用せしむること、北方各省は北京の鈔幣を利用せしむること、上海其他に爲替資金六七百萬圓を準備し爲替取組の圓滑を實行することゝせり（北京特電）

……れたるを以て○王妃は鄭家屯に避難せり張督軍は混成旅團より成る征蒙軍を派遣すべく目下準備中なりと（奉天特電）

……の船客運賃を……月一日……すことゝなりしが値上率は約二割見當なるべしと（大阪特電）

……の爲めに發職せられたるが北京に上り巨細に訴ふる所あらんとし準備中なりと（北京特電）

## ○正貨現在別報

十五日現在の調査に據れば我國の正貨は四千六百四萬一千六百六十六圓にして內正貨準備發行平均千六百四萬一千六百六十六圓保證準備發行平均三千萬圓なり

## ●新京極の火事騷

京都市新京極八千代館より十九日午後零時三十分頃失火したるも天井を燒きたゞ……

## □寺內伯の石膏塑像

寫眞は前總督寺內伯の石膏塑像で工業專門學校の中村技手の作になるもの記念の爲め學校內に据ゑ置いてある、像は實體の三分の一大、脚下の臺はセセッション式の四尺に餘るものである、中村技手は商工部大學の附屬に居て伊太利人の先生に學んだ人、曾て景福宮美術館の壁彫刻に慶州佛國寺の石佛をつくつた人である、塑像は此のまゝにして砂型をとれば其のまゝ容易に銅像の原型にもなるとのこと、先日或る愛嬌者の米國人が來て室に這入るや否や脫帽して敬禮し中村技手の技術を褒めて行つたとの一挿話もある

## ●有望なる朝鮮産染料
### ◆紫根とシンナムの研究 ◆研究時代から實用時代へ

『左の手に學理を究め、右の手で實際に行へ』との豐永博士の言を標語として、わが京城工業專門學校は、半島製造工業の原動力たらむとして居る。既に原動力となつてゐるのもある。此所に染料の教授、工學士上田益助氏の談を記して見る。染料は來年第一回の卒業生を出し、目下學習者十八人、內鮮人半々の割で傳習生は廿名居る。

從來朝鮮の植物性染料として研究中だつたシンナムは愈よ試驗の結果朝鮮特産の染料となつた、理窟をさし措いて實際有効に用ゐられるものとなつた、現に横濱の原商會では製品二三千硫を註文して來たが京都あたりからも續々買ひに來るやうである シンナムは楓樹の一種で以前から國境平北地方では

▽△支那人の 染料として輸出せられてあつた、併し支那人のは頗る幼稚な方法であつて目下われ／＼の研究したやうなとは知らぬやうであるが兎に角むかしから植物性染料として知られて居ることは確かである、シンナムは木綿染には黑が主となる、それから紺、鐵、鼠等の色にも染り、また羊毛などには立派なカアキ色に染るのである、それで

▽△軍服など には頗る堅牢で好成績を收めてゐる、また絹及び作蠶に對しては主として黑色に染り紋付染めなどのひきぞめには最も適當である、それにシンナム單寧劑として增量が能きるから染料よりもむしろスマックの代用として貴ばれ、またログードの代用品としても面白からう、スマックは絹の增量品として從來西班牙、佛蘭西産のが用ゐられてゐるがシンナムが出ると

▽△充分驅逐 されるであらう、兎に角世界的需要のあるスマックよりも優るとすれば將來朝鮮の特産物として有望である、無論戰後獨逸の人工染料の競爭に逆ふも增量用の點から充分拮抗するに足るのである、シンナムの染料は楓樹の葉から採るのであるが從來國境方面で支那人が買收するのは盛夏七八月の交であつた爲め往々にして枝から切り採る者がある、然るに植物生理上の關係から見れば傷る

▽△エキス分 は十月頃が最もよい、從來平北から出た六七十萬斤のシンナムは多く樹を伐るやうな無法な人があつたやうだがこれは是非共成分の充實した落葉する時に採集して貰ひたい、シンナムは此の他江原、黃海、京畿各道に亙つて澤山ある、殊に京畿道のみにても百萬圓近く採れると思ふ、値段は

▽△百斤二圓 乃至三圓位のもので將來非常に有望な産物となるであらう次に植物性染料として紫根が問題となつてゐる、最近私の報告も發表する筈であるが、私は學校に居る時から研究し、且つ卒業論文にもかいた關係から非常に興味深く思ふ、紫根はむかし高麗朝時代に用ゐられた、李朝に至つては染料として用ふることを忘れられて居た、日本に於てはむかしからべにばなぞいの紫紺色として

▽△古來有名 の染色である、産地は京都、秋田、巖手方面であるが色は雅致ある爲め近時三越あたりでも色々な色に用ゐて居る、朝鮮の産地は主として江原道、慶尙北道地方で一斤四十錢內外で內地へ販賣せられて居る、現に偶然發見され研究すればいろ／＼な物が發見されるであらうと思ふ、唯だ頃日注意しなければならぬとは一般の

▽△鑛物染料 に對する誤解である、それはよく素人の人で鳥渡色の染まるやうな鑛物を見るとすぐ大騷ぎするけれども、それは多くは一時粉末の汚染に過ぎない、眞當の染料ではないのである、元來染料なるものは人造にせよ植物性にせよ充分水に溶解することが大事である、一時の輕はずみで謂ゆる染料出ないどを買ふのはつまらぬはなしである

## ◉幼兒三名財に攫はる

慶北各地にては近來財軍の爲め小兒の咬殺さるゝもの少なからず九月八日午前四時頃奉化郡物野面佳坪里路上にて同里李天儀の六女淑子（五つ）は母に伴れられ通行中拉去され又盈德郡柄谷面金谷洞李振宇三男李命鶴（七つ）は就寢中財に攫はれ又同郡逐山川因廰洞金命欽二女金斗理（三）も就寢中大財に拉去され悲鳴の聲に家人が追跡し奪ひ取りたるも身體各部に重傷を受けし爲め應急手當を加へし甲斐なく間もなく絶命せり

## ◉刑事に化けた機關兵曹

福岡縣三瀦郡西牟田村生れ當時住所不定稻益福太郎は（三四）去る十五日以來釜山署の刑事と稱して釜山埋立新町飲食店岩田辰之助同中島藤市方にて家人を脅しつゝ飲食をなし十七日午後八時頃又も前記の中島方にて酒を命じたるが其の擧動の何となく怪しげなれば主人が酒を出す事を差し控へとやかく押問答せる折しも警邏中の巡査來合せ釜山署に引致し目下嚴重に取調べ中なるが同人は豫備海軍二等機關兵曹なりと申立て居り

……に去月八日實家を飛び出し何れにか踪跡を晦ましたるより目下捜索中

## ◉大賊逮捕さる

神奈川縣横濱市富士見町生れの柴野伊三郎は福岡縣朝倉郡宮野村香具師新野健士（三九）と詐稱し旅順平壤等にて窃盜をなし八月三十一日安東縣五番通五丁目原川市太郎方家人の不在中忍び込みて衣類雜品數點（約二百圓）を窃取しながら本月四日素知らぬ風を裝ひ前記原川方を訪問中安東署の刑事に逮捕され嚴重取調べの結果明治四十三年中大阪控訴院にて强盜傷人罪に依り懲役十年の處分を受け恩赦減刑にて出獄したる曲者と判明し引續き嚴重取調べ中

## ◉公金八百餘圓を拐帶して逃亡

忠北丹陽郡鳳化面中路里居住丹陽郡廳財務雇員李圭煥（三）は自己取扱ひに係る大正二年度より六年度に至る居欵稅八百四十餘圓を拐帶し一先郷里なる忠州郡邑內面安林里に姿を潛めたるも搜査嚴重の模樣なるより逐

## ◉朝鮮海に泥箚發見
### 近頃の熨斗は悉く之で製する

泥箚は從來內地有明海の特産物であつて福岡、佐賀の兩縣下に多産するが朝鮮でも何處かに棲息するだらう位のことで今日まで其の産場を見出す事は出來なかつた、然るに不圖とした動機から最近群山近海で其の

◆大漁場を發見 し、目下盛に採取中だそうである、此の泥箚は奇妙な貝で中味は非常に小さいがサイホン即ち呼吸水管は馬鹿に大きく中味の不味さに引き換へてサイホンは又た頗る美味で三杯酢などに

◆最適の食料 である、それからまた熨斗といふものは昔しは何れも鮑の肉を引き延ばして乾製したものであるが、近來は悉く此の泥箚の呼吸水管を晒して製る樣になつてゐる、有明海では、可なりに多産するけれども附近の需要すら

◆充分に滿足 さすことが出來ぬ現況であるから此の大漁場の發見は相當有意味のもので收利も定めて鮮からぬことゝ思ふ、群山近海の産品は未だ附近の市場に上る位の處であるが其の棲息區域は非常に廣汎だそうであるから遠からず

◆隨所の市場 に現はれるだらうが同地の有志中には之を採製して一工風を重ね支那へ輸出を計畫せんとするものもあるそうである

## ◉統監府の取上げ婆さん
### 歸東する大枝義祐氏 在鮮十二年の意義ある生活

元總督府醫院の庶務課長たりし大枝義祐氏は這回病氣の爲め病院を辭し東京の自邸に起臥することゝなつた、氏の朝鮮に於ける十二年間の生活は何れも意義深き記念すべきものであつたが氏が最初に渡鮮したのは明治卅九年の一月統監府設置の開廳準備員としてであつた、それから九月には外務省に入つて奉天の副領事として赴任せむとして俄かに統監府副理事官に任命されはじめて城津の理事廳に赴任した、當時鏡城の開設、清津港の開港事務にも干與し愈よ開港と共に清津理事廳の副理事官をも兼任した、次いで明治四十一年城津理事官松本氏と交替して城津に赴き四十三年まで同地にあた後ち併合の際には龍山印刷局長として令名あり四十五年に總督府醫院に入り今日まで滿五年の日子を送つた、氏は山口縣の人朝鮮に在る多數の知己は何れも氏の去るを惜むである、因に氏は廿日午前八時半南大門驛出發、郷里に歸つて東上する由

## ◉渡米議員發程
### 十九日春洋丸にて

衆議院渡米議員政尾藤吉氏外四名は十九日正午盛んなる見送りを受け東京驛を發し午後五時横濱解纜の春洋丸にて渡米の途に上れり（東京特電）

## ◉爆發したセルロイド
### 責任者起訴

嚢に爆發したる三國セルロイド會社の責任者は過失傷害罪失火罪として起訴せられたり（大阪特電）

## ◉自動車で被告人護送

大阪警察部にては從來の靑馬車を廢し自動車にて被告人の護送をなす計畫あり（大阪特電）

## ◉平北の熊狩り

平北厚昌郡東新面檜陽里金元倚は憲兵分隊の許可を得て特別狩獵中八月二十六日大熊一頭を射殺し同日江界郡院坪派遣所員は熊狩り中南院面院坪洞にて一頭の熊を銃殺し九月一日楚山郡古面小水洞特別狩獵者申錫九は同地大岩穴にて二頭の熊を發見したるが內一頭を射止めたり

## ◉老婆の轢死

十九日未明龍山漢江通十三番地なる鐵道踏切附近に轢死體あるを發見し龍山分隊より係官出張取調しに死者は龍山京町居住鐵道踏切番人熊本縣飽託郡陸郷村村上巳之助の母幸（九）と判明したるが老衰の餘り自宅附近を徘徊中十九日午前四時五十分南大門驛發の貨物列車に觸れて即死したるものゝ如く死體は家人へ引渡さる

## ◉仁川圍碁大會

仁川圍碁同好者相謀り恭伯顯三段の爲め來る二十三日の日曜及び二十四日の祭日を期し濱町圍碁研究所に於て秋季大會を開催すべし會費金一圓にして一等賞純金メタル二等上等置時計三等高麗燒花瓶以下十等迄賞品あり飛入勝手たるべしと

## ◉パゴダの奏樂

廿日パゴダ公園に於ける奏樂曲目左の如し▲祭禮▲朝鮮俗謠▲ムシナンマーチ▲王のソルツ▲滑稽の女▲タンホイセル▲カテリレ曲▲カバレリアルステカナ▲咏人の遠足

## うかさのうかさ

▲內地には近來職工成金が横行するさうだが內地ばかりではない京城あたりにも職工成金が發生したさうである▲龍山兵營工事に傭はれて居る大工は一日二圓乃至二圓五十錢▲煉瓦積みの職工も一日二圓以下のものは無い▲支那人の煉瓦積職工は一個二厘宛で積んで居るが飛切りの上職人となると一日三圓位の收入になる▲役人のやうに身裝を飾る必要のない彼等は十五日目に受取る三十五圓乃至四十圓の金を使ひ途に困る▲まだ十圓札を便所紙の代りに使ふ程にも成られが彌生遊廓あたりでは隨分職工成金振りを發揮して馬鹿騷ぎをするさうだ▲中には眞面目に働いて居る者は此の春から三四百圓も貯蓄した者も尠くないさうである▲殊に支那人職工と來ては一日三圓も取て一切で廿錢足らずの暮しをして小使と云ても一文も使はない者が多いさうである

## えんげい

◉義士廼家（壽座） は來る二十二日初日にて義士廼家劇團と稱する男女合同の喜劇團にて開演の由なるが同一行は當地に於いて未だ試みられたる事なき實物の連鎖劇を演ずる由にて京城市中の景色よき箇所を背景として野外實演をなしその映畫と相伴つて連鎖劇を演ずべく野外の撮影は早朝より午後三時まで……は午後六時よりなりといふ

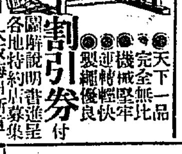
◉有樂館 二十日より臨時特別興行として……の如くにて……は淺草帝國館にて三十日間滿員を占めたるものなりといふ▲（實寫）ユニヴアーサル週報四十三號▲……▲（舊劇）相馬大作誠忠錄全五卷▲新派女優劇全五卷

◉大正館 新派連鎖劇……第三レッドサークルの五六編は已に……

◉壽館 新派講談柳川伯道一行開演中


**株式名義書換停止**
來十月一日ヨリ第拾武回定時株主總會終了當日迄株式名義書換停止致候
大正六年九月
朝鮮皮革株式會社

**移轉廣告**
今般都合に依り左記へ移轉致候
京城本町二丁目八七 村上寫眞舘横道齋千代本隣
下村泰造
電話八六番

於各博覽會金牌受領
浪速式製繩機

◉天下一品 ◉完全無比 ◉機械堅牢 ◉運轉輕快 ◉製繩優良
圖解說明書進呈 各地特約店募集
大阪梅田新道 浪速商會
割引券付

**玩具一式卸商**
伊東商店
京城南大門市場 振替京城三四〇四番

**平壤栗著荷**
平壤栗雜穀物問屋
平壤新倉里一三九番地
◉日 日鮮商會
電話八二三番 電略〇七又はヒ

りん病藥
淋病醫藥 專賣特許 溶彈ブージ
定價 六十錢 壹圓 貳圓 送料內地八錢
溶彈ブージ
本舖 大正製藥株式會社 東京市京橋南傳馬町 振替東京三二三七三
內服ゴナール錠 定價 一圓三十錢 二圓五十錢
◎全國有名藥店にあり

資本金 二三、七〇〇、〇〇〇圓
積立金 一一、二〇〇、〇〇〇圓
諸預金 一八八、〇〇〇、〇〇〇圓
株式會社第一銀行支店
支配人 西村道彥
京城府本町二丁目（振替貯金京城一一番）

**自働車開業廣告**
謹啓今回市內貸付自働車部を鍾路通一丁目七十三番地に新設致し親切叮嚀を旨とし御用命に應ず可く候に付自働車愛乘家各位に謹告仕候
京城鍾路一丁目七十三番地
鍾路自働車部
主 金錫晉
電話三〇五三

**火災にポンプ ポンプは熊平**
全鮮消防組御用
京城本町二丁目
熊平支店
電話四六二四番 振替京城三二三番

七版
勸儉堂主人述
投資界の問題となれる驚くべき致富策の發見
**債券利殖秘傳**
未だ讀まざる人よ速に讀め！五圓以上の金を貯蓄あらば直に實行し得て安全確實に年二割以上に運用する秘訣を授く一面勸業貯蓄債券一活辭典
▲金卅五錢 東京小石川 同仁社 振替三一八四二 ▲各書店取次（郵券一割增）

**諸病に苦しむ人は試みよ**
滿洲遼東を經て幾多の患者を治療し二十有餘年間の經驗ある灸術師曾我クニ子本日より向ふ三週間當地に於て施灸す
京城南大門通五丁目一三 岐阜屋旅舘
灸術師 曾我クニ子
電話一五一七番

新案特許 大日本 改良 六年式
**風車五反稻麥扱機**
外に特許多田式製繩機あり

◉稻其他の穀類を美事に脫粒す多數の回轉式稻扱中の最優良品なるを認め我朝鮮の營農家に推奬す購買又は特約店希望者は郵券三錢封入申込まれ
發賣元 朝鮮農工株式會社
總代理店 石原商會
主 石原磯次郎
新龍山 電話（龍山）七一六番

◉六十六回新債券輕便賣出し
只の一圓（六十錢）の金で勸業債券が買へて割增金二千圓千圓五百圓のくじを樂しむ法
◉代金送附あれば即時領收證送る◉販賣案內書郵券二錢御送附次第進呈 賣數有限締切ぬ內申込あれ
日本勸業銀行債券取扱
勸業債券販賣所
名古屋市中區新柳町四丁目八番地
電話三二一 振替東京三〇三〇〇番

# 櫻御殿

第廿一回 大阪 霞の家主人

## 舊恩 (四)

『まづお聞き召され』と忠勝は血を嘔くような聲をして『戰陣は禮義を主とする、双方に意地があつては、味方の和が缺け申す、追手搦手何れに優劣ある筈なけれど、餘公は當所御差配、舟も筏も思ふまゝ、辨へたまふこと成きるが、池田殿は爾う參らぬ、いざ河へさし寛つて、舟筏に不足あらば、何を便りに渡河が爲らう、すると計畫齟齬つて、忽ち御味方の不利となる、そこを御推量あらせたまへ』と切に云ふ

正則は無言のまゝ控ゐる、忠勝は次に輝政の方を向いて

『これさ、吉田侍從様もさ、申すも如何なやが、大御所様の婿君でおはしながら、一尺一寸の手柄を爭ふて何となさる、もそつと大きい事に目をお付けなされぬか』と叱るように云ふ、忠勝の口上にも、兩家へ對する家康の心根が露はれる

『おゝ』と輝政は唸るように云ふ、正則も頭を擡げて

『諾し、さらば乃公は搦手を受け持たう』と直ぐ折れた

一方は福島、一方は池田、この勝敗何う爲らうかと手に汗を握つた人々が一時に吐息する、忠勝は感し涙を流して

『克くお肯き下された、御味方御勝利この一時に見ゆ申した』と正則の手を強く攫つて、これを戴くように云つた

『おやが吉田侍從殿に、申し置くことがある、搦手は迂路ぢや、岐阜への到着、一二時を後れよう、その間に魁はなさるまい喃』

『勿論の事』と忠勝は輝政の返答せぬ中に答へて『吉田侍從殿は君子ぢや、軍陣の禮を破りたまふことがあらうか』

『さらば乾と約束致し置く、戰爭を追手から始めること爲り申さぬ、我等河を渡り終つたとき、合圖の烽火を揚げ申すで、その時河をお渡りなされへ、で無くては計畫が合ひ申さぬぞ』

『心得申した』

輝政は頷き云ふ、正則は二度と念を押さなかつた

敵と一筋の矢も交へぬ間、早くも味方に同士討が起りはせぬかと、人々不安に驅られたが、それは眞の通りまで、忠勝の如才無い仲裁に事なく終る、正則は座を立つて奥へ入つた

と見ると、襖の陰に清之丞が蹲つて泣いて居る、右手を掛けた脇差に殺氣が走る

『清之丞か』

『御意ぢや』

『それに何として?』

『お上へ不禮致す者を、只一刀に刺し殺さうと存じまして』

『おゝ』と、正則は思はず云ふ、その目に歎なの涙がさした

池田輝政飽くまでも先陣を爭つて大御所様の婿君を鼻に掛けて云はば、此方には祖先傳來の一刀一點の錆も無く光り輝く、この刄の向ふところ大御所も無く征夷大將軍も無い、礫の如く驅け込んで、輝政の胸板を刺し通し、その場を去らず一命を捨てようと覺悟しつゝ、こゝに潜んで軍議の模樣を考へて居たのであつた、清洲の城内に、正則思顧の武士は數多くあれど、正則の爲めに、功名の敵を殪して、主の意地に殉じやうと覺悟したものは他に無い、正則はその意氣を歎んだ、その眞忠を歎んだ

『今から甚目寺へ參ろ、供せへ』

『心得てござります』

『備後守へも申せ、出陣に間も無い、一度臉の顏が見たい』

清之丞は正之の居間へ驅ける程なく、兩節(正則と正之の事)御供揃への命が下る


無病長壽を希ふ人ありや
然して津村兄弟商會の人參エキスを知らざる人ありや
人參エキスに親しまる方は一生健全也
京城本町一丁目 電話一四八〇 津村兄弟商會


## 京日俳壇

立秋

秋立つ日返書なほざり思ふ哉　馬岳
秋立つや露冷き草を刈る且　北豐
秋立つや蟲の音夜毎増す小庭　飛泉
尾上寺の鐘に秋立つ夜明哉　隈由
種黍の穂に立秋の微風かな　楓亭
籠に浮く寛の苦や今朝の秋　味川
蔦の葉を翻す風や今朝の秋　要村
今朝秋の菩提に消ゆ小鳥哉　琦好
病む子抱いて佇つ今朝秋なり　歌津女
染物屋が訪れし早秋なり　山奥水
垣板並ぶ庭木に葉鳴る秋立つ　夢二

## 新刊紹介

▲食物の養生(三の九) 一部十三錢東京牛込市ヶ谷加五一石塚食療所
▲臺灣教育 一部二十錢臺灣總督府民政部學務部內臺灣教育會
▲日本農業雜誌(三の一〇) 一部十五錢東京麻布笄町六の八三日本農業社
▲良書新報(一の七) 一部八錢東京小石川小日向臺町良書普及會
▲開巻虎之巻(五の九) 一部二十錢東京府下富士見町四三宮の日本社
▲陽明(丁巳九) 一部十錢大阪天王寺二〇八大阪陽明學會
▲土木建築工學(四ノ一) 一部二十五錢東京日本橋本石町一の一工學社
▲國民評論(九月十五日號) 一部十五錢東京麴町有樂町一の三北社
▲帝國青年(二の九) 一部十二錢東京麴町內幸町一ノ四共發行所
▲青年界(一の六) 一部十錢東京神田三崎町三ノ一青年社
▲新國民(二五の六) 一部十五錢東京神田駿河臺大日本國民中學會
▲衛美堂時報(八) 大阪淀屋橋南詰衛美堂

◎渡米小學校長送別會 實業之日本社派遣の渡米小學校長一行は十四日を以て全部東京に參集したるが男爵澁澤榮一氏は同社の壯擧と一行の名譽とを祝し去十五日午後六時より特に一行の送別會を東京丸の內銀行集會所樓上に於て開催し其行を壯にしたり當夜出席者は團長佐々木吉三郎氏に補佐役平逸福田氏を首め一行十二名を主賓とし増田實業之日本社長、鄕倉、永田、栗原の同社三理事及び男爵澁谷澤、中野武營、添田壽一、新渡戸稻造、浮田和民、成瀬女子大學校長、堀越善重郎、澁澤家の八十島親德、増田明六等の諸氏にて先づ澁澤男より懇切なる送別の辭ありて全國の重なる十餘の校長諸君の責任は重大なりとて一行を激勵し杯を舉げて其の壯擧を祝し、佐々木團長は一行を代表して答辭を述べ男爵が實業界・社會事業に盡されたる功勞の偉大なるを掲げて此の如き名譽ある國家の先驅として特に送別の宴を設けられたるを謝し次で服部教育會[illegible]新に歐洲戰爭に加入したる米國の戰時的國情に普及して米國民の覺醒を觀察し其善惡を判斷するに於て迷ふ事なからんことを懇說し[illegible]男爵の健康を祝し更に別室に移りて[illegible]午後十時散會を告げたりと因に一行は十九日午後三時出發米國に向ふ

## 讀者の領分

▲近時部落を問はず賴母子講の盛なるは寒心に堪へぬあながち講が惡いと云ふのではない其の方法が惡いのだ大に注意せよ(不得要領生) ▲昨日など東風甚だしく小學校邊を彷徨仕候處恰も豆人形の如き少年カバンを肩に辨當と傘を抱へ風に苦しめられつゝ行く樣も哀れに見受け申候一人にても敎育を漏るゝ事のなからんことを祈る身には讀者領分を借用して思を述ぶることを得るも亦是京城日報の御惠みと喜び候(敎育尊重者) ▲東大門小學校へ通學兒童の風雨の時の困難は殆ど想像以上である一日も早く何とかしてやりたいと思ふそれには敎員社宅とか公園とか色々考案せらるゝが者當局であるしかし第一の良策として中央試驗所前から東西四軒町へ通ずる道路を早く開通してもらひたい此が最も便利でそれから公園でも家屋でも相當の設備をしたらよかろう當局者の一考を願ふ兎に角可憐なる兒童の安全通學の出來るよう切望する(交兒) ▲東大門小學校通學困難の件は輕々看過すべき問題にあらず中流以上の家庭は電車乘降口迄家人陪添登校するあるを見るも中流以下貧生の我々には電車の便に寄る事すら迷惑至極なるに況して嚴冬の季節に至らば休學の止む事なきに至らん本件の如き重要問題は一日も躊躇を許さず學校附近に中以下の住居すべき借家の建築を希望す請ふ京城の有志士仁人敎育の忽かせにすべからざるを知らば速に學校附近に借家建築の企畫あらんことを是資金を失はずして子弟修學を勸むる善美の舉なり(無名氏)

## 商況

大阪株式相場

合同紡新 八八、九〇
鐘淵紡績 二四六、九〇〇
同新株 二二七、一〇〇
[illegible] 一〇六、四〇

| 十九日後場寄付 | 寄付 | 大引 |
| --- | --- | --- |
| 九月限 | 二五〇、一〇 | 二五〇、〇〇 |
| 十月限 | 二四八、〇〇 | 二五一、九〇 |
| 十一月限 | 二五〇、〇〇 | [illegible] |

下關期米相場 十九日後場(前場新甫を略)

▲十九日後場▲氣配寄付二十四円六十[illegible]東京二十一円七十三錢大阪前止二十一円二十六錢後寄二十四錢の入違にて寄附後十九圓二十錢中十九圓大引[illegible]と上伸したるが[illegible]方面其他より賣物多く四錢と押したるし更に八錢と返し七[illegible]

▲[illegible]同店の賣二千餘石買二千餘石 同店の賣二千餘石買千餘石


登錄商標 景品附大賣出し 醬油 京龍酒醬油 龍健富みかん
日本醬油株式會社 京城出張所・電話二四五番

りん病ばい毒 患者諸君
近來東京其他各地にドラグあり諸君せうれざる樣御用心あれ當京城に於てもドラグ商會以外にドラグ商會と稱する商人あらばそれは全く吾が商號を盜用する詐欺漢なり
詳細九月十二日の本紙御覽の上患者諸君の御注意を乞ふ
京城南大門外停車場通 花柳病專門藥房 ドラグ商會 本部滿鮮
電話二五六七番・振替京城四〇六七番

最新刊
◎古代氏族制度 太田亮 二、五〇
◎宗教研究 宗教研究會編 七五
▲ローマン民衆藝術論 大杉榮譯 一、二〇
▲魔術的物理實驗法 三澤儀氏 一、二〇
◎禪學八面觀 加藤咄堂 八五
▲中等科代數學問題解法 松村定次郎 一、二〇
釋宗演著 宗演禪話 定價九十錢
◎山へ海へ 田山花袋 一、〇〇
▲祇園待宵草 田 韓彥 七五
▲戀語友禪姿 水谷水紅 六〇
◎還魂錄 林太郎 五〇
大阪屋號書店


## 京日案内

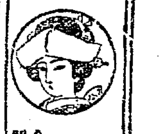
◎寫眞修整技師及び門生入用 本人直接來談保證人を要す 武橋町菊田寫眞館 電話一八三 585
◎期米通信 大變動の兆有り廿日商值 廿五日買廿七日途轉詳細は照會あれ 京城吉野町一ノ六 中野方紅葉 582
◎附屬品とも 王鐘壹一臺(中古)賣物 旭町一 朝鮮工業社 586
◎老舗本町四茶及上菓子店得意澤山收入確實道具造作一切付三百圓讓 中込所本町四 壁印商 青木出張店 587
大募集 洋品雜貨販賣員百名入用有利條件附大正琴 東京淺草駒形電停前 東京洋品協會 地方特約店應申込 560
◎土地建物附賣却 坪數百十五坪 格安坪拾圓五十錢至急讓る 北米倉町百六番地 山川 569
番外 南山町二丁目(電話六七五番) 松岡醫院 長谷川町七五(電話三〇六八番) 中華醫院 醫師 松岡僖七 588
◎給仕採用 年齡十五六歳高等小學卒業程度の者一名採用す希望者本人來談 京城旭町一丁目 白上商店 581
◎恩給年金立替 利一〇 五年迄 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町(大正館向) 元祖 博多屋本店 521
◎新古ミシン賣買 電話又はハガキにて御一報次第參上 京城新路 電話二三三八番 輸商店 556
◎恩給年金立替 利一 五年迄 公債保險 京城黃金町一丁目 電話二三九一番 國江商會 526
◎鑛物各種分析 京城本町二丁目二二六(電話一八二三) 遊技場通油店向側入る 松永分析所 511

初秋の健康は一番よくきく懷中良藥
守田寶丹 服む人の獨占
◎效能 ○暑氣あたり ○下痢 ○腹痛 ○消化 ○中暑 ○水あたり ○酒食 ○嘔吐
東京下谷池之端仲町廿七號地 寶丹本舗主 守田治兵衛 振替東京二九八五
各藥店にあり
定價 金十錢・金二十錢・金三十錢・金五十錢・金壹圓
三十錢以上は優美なる寶丹匙を添ふ

日英米獨政府專賣特許
かつけ新藥 アンチベリベリンを服せざるは
都築甚之助氏發見
望まざるかつけ患者あり
かつけ治癒を
到る處の藥店にあり
說明書 郵券二錢
發賣元 東京市麻布區 南信堂藥局

小兒用大學目藥は眼科の大醫が專ら十歲以下の小兒の爲めに懇切周到なる注意の下に創製せられしものにて子供の爲めに信賴すべき目藥であります
大阪 參天堂藥房 定價 拾錢

名聲斯界に赫々たる世界の名酒
ヘルメスウヰスキー
本品は醸造後永年貯藏熟製したる香りと口當りのよい逸品!!
家庭用 旅行用 二種あり
大阪 祭原



七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
小壜 二十錢 徳用 四十錢
今東京で大評判の元素液色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送付あれば送品す 送料內地八錢滿鮮十錢
東京神田和泉橋際 松本藥店


## 朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二・三三番
京城旅客取扱所 京城南大門通 松原運送店 電話長二七〇番

○釜山より各地經由雄基行(但し〆印あるは江原道沿岸寄港せず) 京畿丸 九月廿三日 忠清丸 九月廿九日 釜山發
○元山より釜山行 咸鏡丸 九月三十日 平安丸 九月廿五日
○元山より各地經由雄基行 穩城丸 九月廿一日 鏡城丸 九月廿四日 咸鏡丸 九月廿二日 元山發
○浦潮行(元山より城津清津經由) 平安丸 九月廿一日 元山發
○元山浦潮行 穩城丸 九月廿九日 咸鏡丸 九月三十日 鏡城丸 九月廿三日 元山發
○鬱陵島行(浦項及各地經由) 慶寶丸 九月廿五日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 寧陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行(長承浦麗水巨文島經由) 昌平丸 九月廿三日 釜山發
○麗水行(各地經由) 海州丸 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發
○木浦麗水行(麗水にて釜山行接續) 順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發
○木浦より濟州島行各島經由 西歸丸 九月廿七日 公州丸 九月廿五日 慶興丸 九月廿七日 木浦發
○多島海各島行 慶興丸 九月廿二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由) 晉州丸 九月廿七日 麗水丸 九月廿二日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由) 宗谷丸 九月廿二日 仁川發
○海州行(江華島經由) 全州丸 錦江丸 毎日 仁川發
○青島行(芝罘、大連經由) 江原丸 九月廿一日 仁川發

## 日本郵船出帆

大連行、太沽(天津)牛莊行 相模丸 九月廿八日 高砂丸 十月九日 三河丸 九月二十日 正午出帆
仁川本町 回漕部

## 尼崎汽船出帆

仁川、群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大湖丸 九月二十日後四時出帆
○大有丸 [illegible] 後四時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部

## 金泉榮州間自動車發著時刻

[illegible]
金泉支部 金泉電話四八番